

3 アンケート調査の実施状況

(1) アンケート調査票	49
(2) 住民アンケート調査結果集計	55
・調査期間	平成 16 年 7 月 22 日～8 月 6 日
・調査方法	調査票の発送・回収とともに郵送方式
・標本数	20 歳以上、500 人
・回答数	235 人 (47%)
(3) 中高生アンケート調査結果集計	78
・調査期間	平成 16 年 7 月 22 日～8 月 6 日
・調査方法	学校を通じて、調査票を配布回収
・回答数	123 人 清水・御影中学 3 年生 97 人 清水高校生

問4 あなたは、地域の中で、「人の手助け」をしたことがありますか。(は1つ)

1. 自分からすすんでしている	2. 頼まれてしている	3. したことがない
-----------------	-------------	------------

(問4で1・2とお答えになった方にお聞きします。)(問4で3とお答えになった方にお聞きします。)

問4 (1) どんな手助けをしましたか。
(行っているもの全てに)

問4 - (2) 今後、機会があれば、手助けしてみたいですか。(は1つ)

1. 安否確認の声かけ 2. 趣味などの話し相手 3. ちょっとした買い物 4. 玄関前除雪 5. ゴミ出し 6. 玄関前掃除 7. 短時間の子どもの預かり 8. 子育ての相談 9. その他 【 具体的に 】

1. 機会があれば してみたい	2. してみたいと 思わない
--------------------	-------------------

(問4 - (2)で1とお答えになった方にお聞きします。
実際に手助けするには何が必要と思いますか。
(は3つまで)

1. 時間のゆとり 2. 気持ちのゆとり 3. 活動できる場などの情報 4. 一緒に活動する仲間 5. 活動が有償であること 6. 家族の協力 7. その他 【 】

問5 現在のご近所とのつきあいに満足していますか。(は1つ)

1 満足している	2 まあまあ満足している	3 あまり満足していない	4 不満である
----------	--------------	--------------	---------

問6 あなたは、この清水町に今後も住み続けたいと思いますか。(は1つ)

1. ずっとすみ続けたい	2. 機会があれば引っ越したい	3. 考えたことがない
--------------	-----------------	-------------

(問6で1と答えた方にお聞きします。)

(問6で2と答えた方にお聞きします。)

問6 - (1) どのような点ですみ続けたいと思いますか。(は3つまで)

問6 - (2) どのような点で引っ越したいと思いますか。(は3つまで)

<ol style="list-style-type: none">1. 家、土地があり昔から住んでいるから2. 近所づきあいが良いから3. 近くに友人、知人、親類がいるから4. 自然環境がよいから5. 買い物など生活に便利だから6. 医療サービスが整っているから7. 福祉サービスが充実しているから8. 働く場(職場)があるから9. 子育てや教育環境が整っているから10. 文化・スポーツ等の環境が整っているから11. その他()

<ol style="list-style-type: none">1. 近所づきあいが良くないから2. 買い物など生活に不便だから3. 通勤・通学に不便だから4. 医療サービスが整っていないから5. 福祉サービスが充実していないから6. 働く場所がないから7. 子育てや教育環境が整っていないから8. 文化・スポーツ等の環境が整っていないから9. 楽しめる場所がないから10. その他()

問7 これからの清水町に期待するものは何ですか。(は2つ)

<ol style="list-style-type: none">1. 道路や市街地の整備2. 学校教育・生涯学習3. 文化・スポーツの振興4. 農業や産業の振興5. 医療・保健サービスの充実6. 福祉サービスの充実7. その他()
--

問8 清水町には町や社会福祉協議会などが行っている様々なサービスがあります。次の(1)～(7)をご存知ですか。

(1) 民生児童委員 (は1つ)

担当地域における手助けが必要な人に対して、相談・指導・助言などを行っている、厚生労働大臣が委嘱した、町民への奉仕者です。

1 . 活動内容を知っている 2 . 名前は知っている 3 . 知らない

(2) 社会福祉協議会 (は1つ)

地域住民が主体となって、地域における福祉の問題を解決し、改善を図るため、公私関係者の参加協力を得て組織的に活動を行う、社会福祉法に基づく法人(民間の非営利団体)です。

1 . 活動内容を知っている 2 . 名前は知っている 3 . 知らない

(3) 在宅介護支援センター (は1つ)

在宅で介護が必要、もしくはそのおそれのある高齢者または家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談を受け付けています。保健福祉センターに1ヶ所、町内の薬局5ヶ所に『まちかど相談所』があります。

1 . 活動内容を知っている 2 . 名前は知っている 3 . 知らない

(4) 介護保険サービス (は1つ)

要介護・要支援認定をされている方が利用できるサービスです。訪問介護、訪問看護、訪問入浴、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所、福祉用具、住宅改修、介護保険施設の入所などのサービスがあります。

1 . 知っている 2 . まあまあ知っている 3 . あまり知らない 4 . 知らない

(5) 高齢者福祉サービス (は1つ)

老人福祉センター、老人クラブ活動など高齢者全般の支援、サービスや一人暮らしなどで支援を必要とする高齢者への給食サービス、移送サービス、除雪サービス、生きがいデイサービス、自立支援ホームヘルプサービス、ふれあい訪問、緊急通報システム、ねたきり老人等介護手当などのサービスがあります。

1 . 知っている 2 . まあまあ知っている 3 . あまり知らない 4 . 知らない

(6) 障害者(障害児)福祉サービス (は1つ)

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられた方で、それぞれに利用できるサービスは異なりますが、補装具や日常生活用具の給付。医療費の助成、デイサービス、ホームヘルプサービス、短期入所、公共交通機関の割引、税法上の各種控除などのサービスがあります。

1 . 知っている 2 . まあまあ知っている 3 . あまり知らない 4 . 知らない

(7) 児童福祉サービス (は1つ)

保育所(一時保育、子育て支援センター等)、児童館、学童保育、乳幼児医療費の助成、各種児童手当などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問9 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。(は1つ)

1. 非常に関心がある 2. どちらかといえば関心がある 3. 関心がない

問10 これからの「福祉」のあり方について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない
2. 行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである
3. 福祉課題については、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである
4. 家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである
5. わからない
6. その他(具体的に)

問11 あなたは「ボランティア」についてどう考えますか。(は1つ)

1. 個人の余暇を利用した奉仕活動
2. 社会的弱者への必要なサービスの提供
3. 地域住民同士の助け合いとして必要な活動
4. 仕事ではないが責任を持って行う活動
5. その他()

問12 現在、ボランティア活動等に参加している分野は何ですか?(該当するものに)

1. 高齢者関係(友愛活動、クラブ活動等への協力支援や施設訪問交流など)
2. 障害者関係(車イス補助等社会参加・生活支援や施設訪問交流など)
3. 子育て関係(託児、育児相談や育児サークルなどの支援や施設訪問交流など)
4. 保健・医療関係(健康教室等の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など)
5. 青少年関係(悩み相談や交流、地域子ども会活動等による健全育成支援など)
6. 環境関係(自然愛護や美化運動、リサイクル運動など)
7. その他(具体的に)
8. 参加していない

問13 今後、地域住民は、どのような福祉活動に取り組むことが望ましいとお考えですか。(は3つまで)

1. 町内会・社会福祉協議会など地域組織の活性化
2. 誰もが自由にふれあえる場づくりへの参加
3. 高齢者と若い世代の交流活動への参加
4. 福祉問題に関する話し合いの場への参加
5. 介護者や介護を必要としている方々への支援
6. 病院への通院等の際の外出の援助
7. 安全で快適な居住環境整備のための活動
8. 乳幼児を持つ親への子育て支援の活動
9. 生きがいづくりへの活動
10. 福祉施設への訪問活動
11. その他(具体的に

)

問14 今後、清水町にとって、ますます必要になると考えられるものを選んでください。(は3つまで)

1. 在宅での生活を支援する介護サービスを充実させる
2. 高齢者や障害者等が入所できる施設を拡充する
3. 福祉に係る手当給付など金銭的な援助を行う
4. 福祉サービスの利用に伴う金銭的な負担を軽くする
5. 福祉の専門的支援が行える公的な専門機関を設置する
6. 福祉の専門的援助ができる福祉専門職の配置を増やす
7. ボランティア活動に対する支援体制を充実させる
8. 福祉やボランティアに関する学習の機会を作る
9. 地域住民が助け合い支え合う「共生」のまちづくりの推進を図る
10. 道路の段差解消や公共機関などのバリアフリーを進める
11. 病気や寝たきりにならないための保健事業を充実させる
12. 学校等での福祉体験やボランティア活動など福祉教育を充実させる
13. 地域の人々が気軽に相談したり集まれる場を設置する
14. 社会参加を通じて生きがいづくりができる活動の場を確保する
15. その他(

)

問15 これからの「地域福祉」に対するあなたの思い・意見を自由に、ご記入ください。

お疲れ様でした。「清水町地域福祉計画」を作る上での、貴重な資料として活用させていただきます。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

清水町地域福祉計画アンケート調査の集計結果について

町民の皆様には、日頃から本町の福祉行政に関しまして、ご理解とご協力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

また、今回、「清水町地域福祉計画」策定にあたり、アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

アンケートを通じて「地域の福祉」に対する町民のみなさんの考え方や意見を多数寄せていただき、「地域福祉計画」策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。ここに、集計結果をまとめましたので、関心を持って、ご覧いただけましたら幸いです。

大変お忙しい中、調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

地域福祉計画とは？

誰もが住みやすい地域福祉社会を実現するためには、地域に住む住民が互いに思いやりをもって、ともに支え合い、助け合うという意識の形成とともに、行政や事業者そして住民はどうあるべきなのか、地域福祉の理念やあり方を検討して共通の理解を深めていくことが必要です。

住民が参加し、住民のニーズを反映した施策を検討・整理していく中で、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、次世代育成計画、健康増進計画などの計画との整合性を図りながら、地域の福祉に関する計画を策定するものです。

【アンケート調査の実施方法】

調査対象 : 本町在住の20歳以上の方の中から、年代毎の人口比率に応じた割合で500人を無作為抽出

調査期間 : 平成16年7月22日～8月6日（最終返送8月23日）

調査方法 : 郵送により、返信用封筒で回収

回答数 : 235人

回答率 : 47%

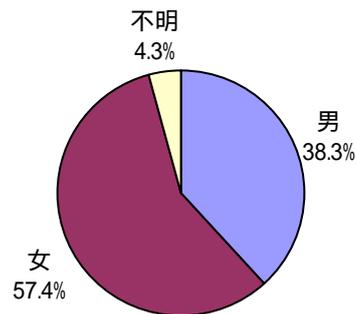
その他 : 自由記載（問15）に、お寄せいただいたご意見等については、原文のまま掲載してあります。

この調査に関する問い合わせ先 清水町役場保健福祉課福祉係
(69 - 2222)

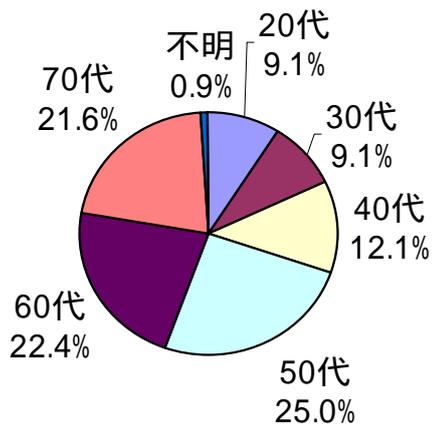
問1 あなたの性別、年齢、世帯構成、住んでいる地区をお答えください。

性別	1. 男 2. 女
年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代
世帯構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦2人暮らし 3. 親子同居暮らし 4. その他
居住地区	1. 清水市街 2. 御影市街 3. 清水農村 4. 御影農村

性別	回答数	構成比
男	90	38.3%
女	135	57.4%
不明	10	4.3%
合計	235	100.0%



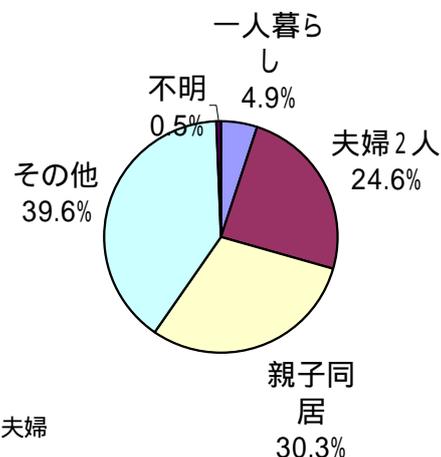
回答数の男女はほぼ男1に対し、女1.5となっている。



年齢毎の比率は、ほぼ年齢階層が上がるにつれ増える傾向にある。

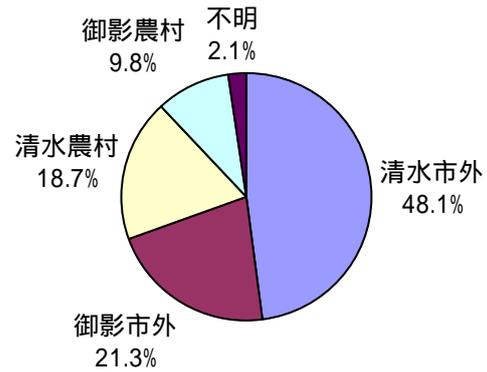
年齢	回答数	構成比
20代	21	8.9%
30代	21	8.9%
40代	28	11.9%
50代	58	24.7%
60代	52	22.1%
70代	50	21.3%
不明	2	2.1%
合計	235	100.00%

世帯構成	回答数	構成比
一人暮らし	18	7.7%
夫婦2人	90	38.3%
親子同居	111	47.2%
その他	145	6.0%
不明	2	0.9%
合計	235	100.0%



世帯構成は、親子同居世帯がほぼ半数を占め、次いで夫婦2人が約4割となっている。

居住区	回答数	構成比
清水市外	113	48.1%
御影市外	50	21.3%
清水農村	44	18.7%
御影農村	23	9.8%
不明	5	2.1%
合計	235	100.0%

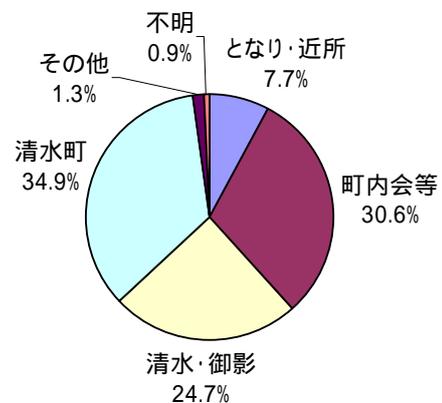


居住区は、清水市街が約半数を占め、御影市街と合わせ市街のほうが7割となる。

問2 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. となり、近所という範囲 | 2. 町内会、農事組合という範囲 |
| 3. 清水、御影という範囲 | 4. 清水町という範囲 |
| 5. その他 | |

問2	回答数	構成比
となり・近所	18	7.7%
町内会等	72	30.6%
清水・御影	58	24.7%
清水町	82	34.9%
その他	3	1.3%
不明	2	0.9%
合計	235	100.0%



地域の範囲は、清水町と答えた方が最も多く、清水・御影と合わせると約6割となり、比較的大きな単位を地域と捉える傾向がみられた。

問3 あなたは、地域とのつながりがあると思いますか。(は1つ)

1. つながりはあると思う 2. つながりはないと思う 3. わからない

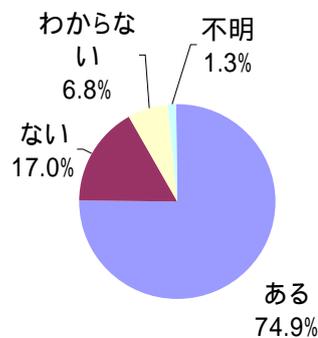
(問3で1とお答えになった方にお聞きします。) (問3で2とお答えになった方にお聞きします。)

問3 - (1) どのような時つながりがあると 問3 - (2) どのような時つながりがないと
 思いますか。(は3つまで) 思いますか。(は3つまで)

1. となり、近所のおつきあいのなかで
2. 町や地域の行事の参加のなかで
3. サークル活動のなかで
4. 学校(時代)の友人とのなかで
5. 仕事の関係のなかで
6. その他()

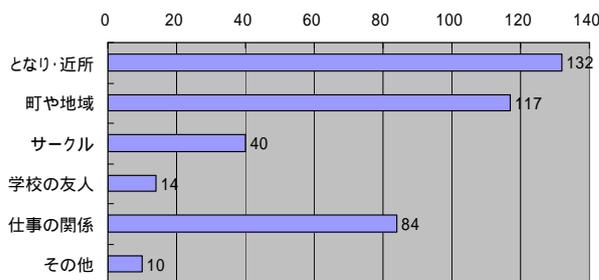
1. あまり知らないから
2. 関わる時間がないから
3. 関わる機械がないから
4. 家族にまかせているから
5. なんとなく
6. その他()

問3	回答数	構成比
ある	176	74.9%
ない	40	17.0%
わからない	16	6.8%
不明	3	1.3%
合計	235	100.0%



地域とのつながりは、あると答えた方が全体の約4分の3となった。

問3 - (1) どのような時つながりがあると
 思いますか。



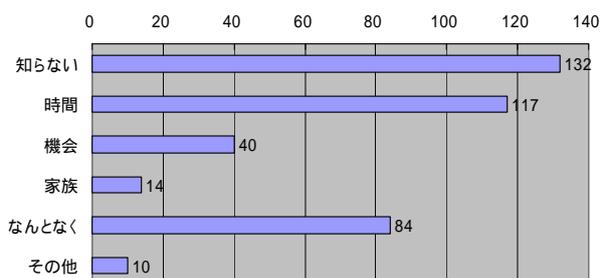
問3 - (1)	回答数	構成比
となり・近所	132	75.0%
町や地域	117	66.5%
サークル	40	22.7%
学校の友人	14	8.0%
仕事の関係	84	47.7%
その他	10	5.7%
合計	397	225.6%

*3重回答

問3 - (2) どのような時つながりがないと思うか。

問3 - (2)	回答数	構成比
知らない	132	75.0%
時間	117	66.5%
機会	40	22.7%
家族	14	8.0%
なんとなく	84	47.7%
その他	10	5.7%
合計	397	225.6%

*3重回答



問4 あなたは、地域の中で、「人の手助け」をしたことがありますか。(は1つ)

1. 自分からすすんでしている 2. 頼まれてしている 3. したことがない

(問4で1・2とお答えになった方にお聞きします。)(問4で3とお答えになった方にお聞きします。)

問4 (1) どんな手助けをしましたか。(行っているもの全てに) 問4 - (2) 今後、機会があれば、手助けしてみたいですか。(は1つ)

1. 安否確認の声かけ
2. 趣味などの話し相手
3. ちょっとした買い物
4. 玄関前除雪
5. ゴミ出し
6. 玄関前掃除
7. 短時間の子どもの預かり
8. 子育ての相談
9. その他
[具体的に]

1. 機会があれば 2. してみたいと思わない

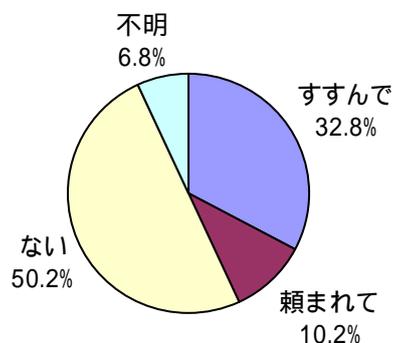
(問4 - (2)で1とお答えになった方にお聞きします。)

実際に手助けするには何が必要とご思いますか。(は3つまで)

1. 時間のゆとり
2. 気持ちのゆとり
3. 活動できる場などの情報
4. 一緒に活動する仲間
5. 活動が有償であること
6. 家族の協力
7. その他 []

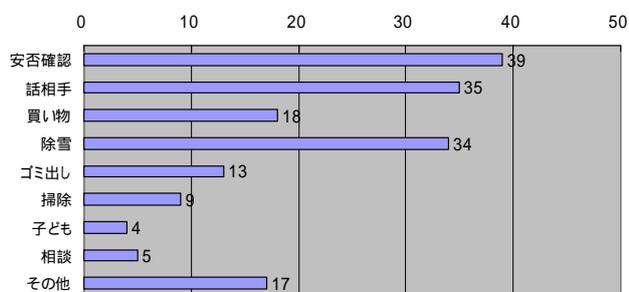
問4 地域の中で、人助けをしたことがありますか

問4	回答数	構成比
すすんで	77	32.8%
頼まれて	24	10.2%
ない	118	50.2%
不明	16	6.8%
合計	235	100.0%



問4 (1) どんな手助けをしましたか。

問4 - (1)	回答数	構成比
安否確認	39	38.6%
話し相手	35	34.7%
買い物	18	17.8%
除雪	34	33.7%
ゴミ出し	13	12.9%
掃除	9	8.9%
子ども	4	4.0%
相談	5	5.0%
その他	17	16.8%
合計	174	172.3%

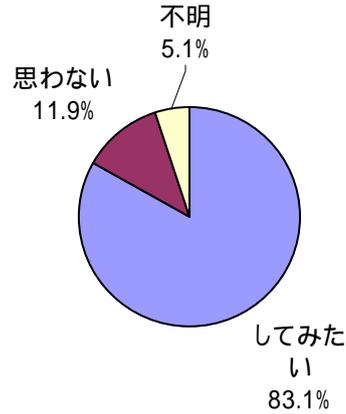


人助けの内容は、安否確認、話し相手などの日常的な交流から発展したものが多く、次いで除雪、買い物など生活に必要な支援となっている。

*9 重回答

問4 (2) 今後、機会があれば、手助けをしてみたいか。

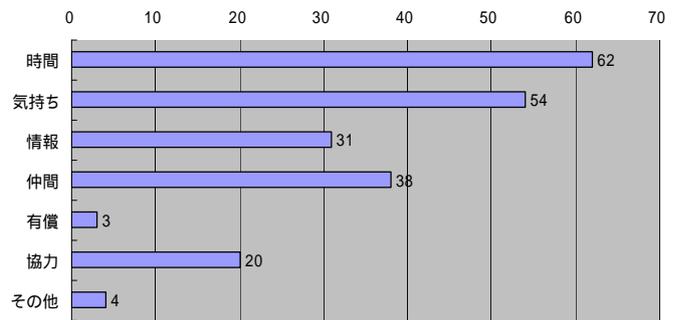
問4-(2)	回答数	構成比
してみたい	98	83.1%
思わない	14	11.8%
不明	6	5.1%
合計	118	100.0%



人助けをしたことがないと答えた方の8割強が機会があればしてみたいと答えている。

問4 (2) 1 実際に手助けするには何が必要か。

問4-(2)1	回答数	構成比
時間	62	63.3%
気持ち	54	55.1%
情報	31	31.6%
仲間	38	38.8%
有償	3	3.1%
協力	20	20.4%
その他	4	4.1%
合計	212	216.3%



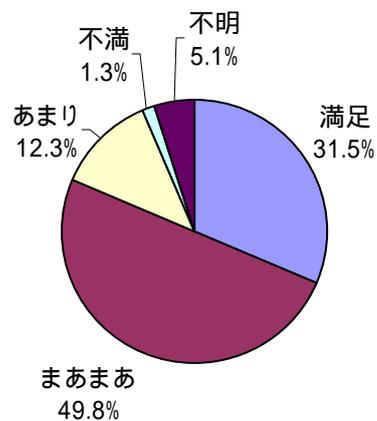
*3重回答

機会があればしてみたいと答えた方に何が必要かとの問いは、時間や気持ちのゆとりと答える方が多い。

問5 現在のご近所とのつきあいに満足していますか。(は1つ)

1満足している 2まあまあ満足している 3あまり満足していない 4不満である

問5	回答数	構成比
満足	74	31.5%
まあまあ	117	49.8%
あまり	29	12.3%
不満	3	1.3%
不明	12	5.1%
合計	235	100.0%



近所付き合いの満足度は、まあまあが約半分を占め満足と合わせると8割強になる。

問6 あなたは、この清水町に今後も住み続けたいと思いますか。(は1つ)

1. ずっとすみ続けたい 2. 機会があれば引っ越したい 3. 考えたことがない

(問6で1と答えた方にお聞きします。)

(問6で2と答えた方にお聞きします。)

問6-(1) どのような点ですみ続けたいと思いますか。(は3つまで)

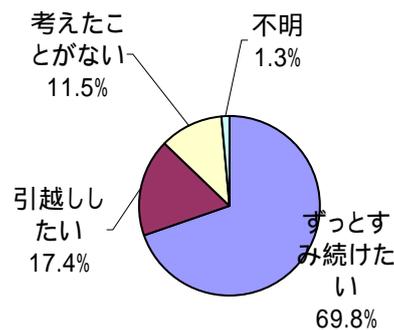
1. 家、土地があり昔から住んでいるから
2. 近所づきあいが良いから
3. 近くに友人、知人、親類がいるから
4. 自然環境がよいから
5. 買い物など生活に便利だから
6. 医療サービスが整っているから
7. 福祉サービスが充実しているから
8. 働く場(職場)があるから
9. 子育てや教育環境が整っているから
10. 文化・スポーツ等の環境が整っているから
11. その他()

問6-(2) どのような点で引っ越したいと思いますか。(は3つまで)

1. 近所づきあいが良くないから
2. 買い物など生活に不便だから
3. 通勤・通学に不便だから
4. 医療サービスが整っていないから
5. 福祉サービスが充実していないから
6. 働く場所がないから
7. 子育てや教育環境が整っていないから
8. 文化・スポーツ等の環境が整っていないから
9. 楽しめる場所がないから
10. その他()

問6 今後も清水町に住み続けたいか。

問6	回答数	構成比
ずっとすみ続けたい	164	69.8%
引っ越したい	41	17.4%
考えたことがない	27	11.5%
不明	3	1.3%
合計	235	100.0%

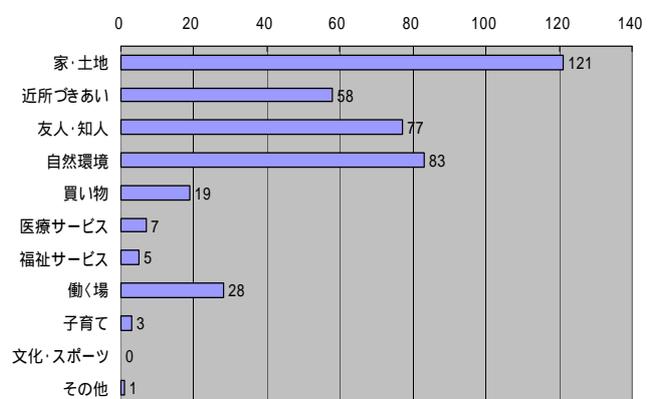


清水町に住み続けたいかとの問には、ずっと住み続けたいが約7割にのぼった。

問6-(1) どのような点で住み続けたいか。

問6-(1)	回答数	構成比
家・土地	121	73.8%
近所づきあい	58	35.4%
友人・知人	77	47.0%
自然環境	83	50.6%
買い物	19	11.6%
医療サービス	7	4.3%
福祉サービス	5	3.0%
働く場	28	17.1%
子育て	3	1.8%
文化・スポーツ	0	0.0%
その他	1	0.6%
合計	402	245.1%

*3 重回答

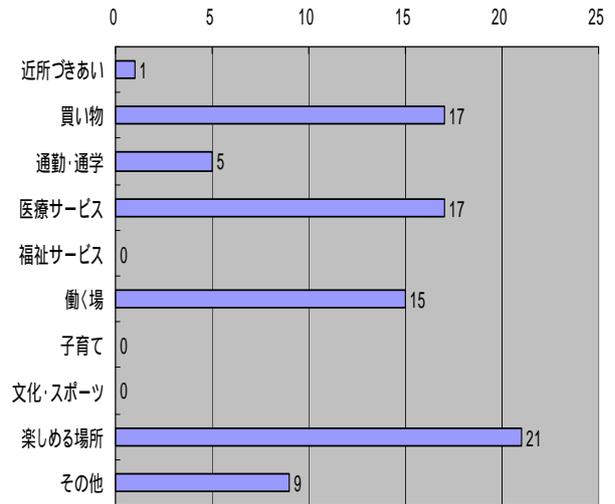


ずっと住み続けたい理由は、家、土地があり昔から住んでいるからが最も多く、次いで友人・知人がいる、近所づきあいが良いからなど血縁、地縁を理由とする方が多くみられた。

問6 - (2) どのような点で引っ越したいか。

問6 - (2)	回答数	構成比
近所づきあい	1	2.4%
買い物	17	41.5%
通勤・通学	5	12.2%
医療サービス	17	41.5%
福祉サービス	0	0.0%
働く場	15	36.6%
子育て	0	0.0%
文化・スポーツ	0	0.0%
楽しめる場所	21	51.2%
その他	9	22.0%
合計	85	207.3%

*3 重回答



機会があれば引っ越したいと答えた方の理由は、買い物と医療サービスを理由にあげる方が多く、次いで働く場となった。

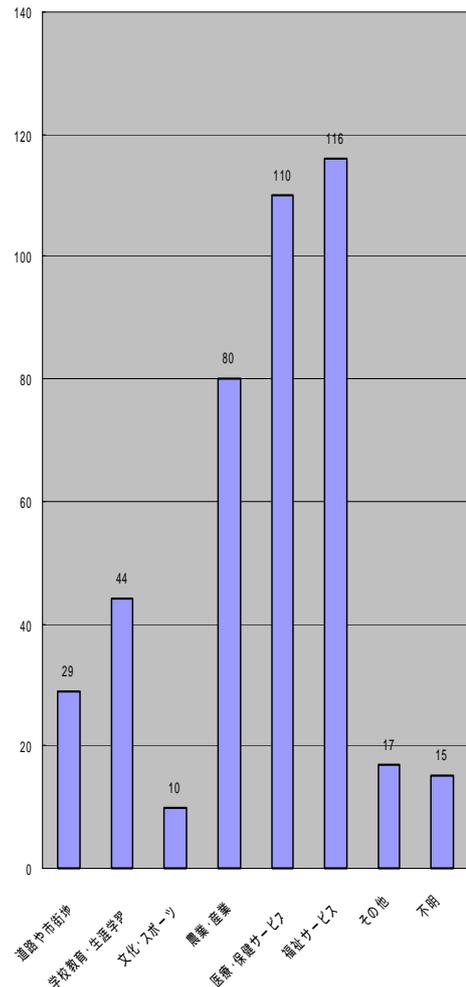
問7 これからの清水町に期待するものは何ですか。(は2つ)

1. 道路や市街地の整備
2. 学校教育・生涯学習
3. 文化・スポーツの振興
4. 農業や産業の振興
5. 医療・保健サービスの充実
6. 福祉サービスの充実
7. その他()

問7	回答数	構成比
道路や市街地	29	12.3%
学校教育・生涯学習	44	18.7%
文化・スポーツ	10	4.3%
農業・産業	80	34.0%
医療・保健サービス	110	46.8%
福祉サービス	116	49.4%
その他	17	7.2%
不明	15	6.4%
合計	421	179.1%

*2 重回答

これからの清水町に期待するものは何かとの問には、医療・保健サービス、福祉サービスを答える人が多かった。また、次いで農業・産業の振興が続いた。



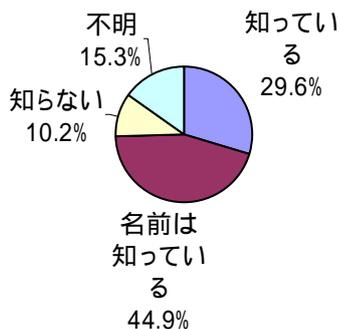
問8 清水町には町や社会福祉協議会などが行っている様々なサービスがあります。
次の(1)～(7)をご存知ですか

(1) 民生児童委員 (は1つ)

担当地域における手助けが必要な人に対して、相談・指導・助言などを行っている、厚生労働大臣が委嘱した、町民への奉仕者です。

1. 活動内容を知っている 2. 名前は知っている 3. 知らない

問8(1)	回答数	構成比
知っている	29	12.3%
名前は知っている	44	18.7%
知らない	10	4.3%
不明	15	6.4%
合計	421	179.1%



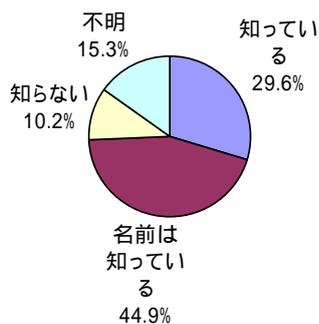
民生委員の認知度は、知っているが約4分の1にとどまり、知らないと答えた方と同数であった。

(2) 社会福祉協議会 (は1つ)

地域住民が主体となって、地域における福祉の問題を解決し、改善を図るため、公私関係者の参加協力を得て組織的に活動を行う、社会福祉法に基づく法人(民間の非営利団体)です。

1. 活動内容を知っている 2. 名前は知っている 3. 知らない

問8(2)	回答数	構成比
知っている	29	12.3%
名前は知っている	44	18.7%
知らない	10	4.3%
不明	15	6.4%
合計	421	179.1%



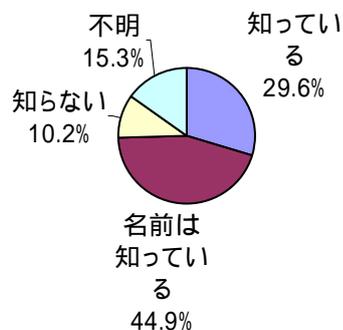
社会福祉協議会は、知っているが約3分の1となり、知らないは1割ほどにとどまった。

(3) 在宅介護支援センター (は1つ)

在宅で介護が必要、もしくはそのおそれのある高齢者または家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談を受け付けています。保健福祉センターに1ヶ所、町内の薬局5ヶ所に『まちかど相談所』があります。

1. 活動内容をしっている 2. 名前は知っている 3. 知らない

問8(3)	回答数	構成比
知っている	29	12.3%
名前は知っている	44	18.7%
知らない	10	4.3%
不明	15	6.4%
合計	421	179.1%



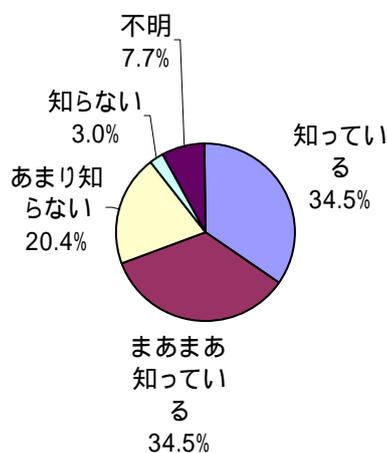
在宅介護支援センターは、約3分の1が知っている一方、知らないと答えた方も6分の1にのぼった。

(4) 介護保険サービス (は1つ)

要介護・要支援認定をされている方が利用できるサービスです。訪問介護、訪問看護、訪問入浴、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所、福祉用具、住宅改修、介護保険施設の入所などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(4)	回答数	構成比
知っている	81	34.5%
まあまあ知っている	81	34.5%
あまり知らない	48	20.4%
知らない	7	3.0%
不明	18	7.7%
合計	235	100.0%



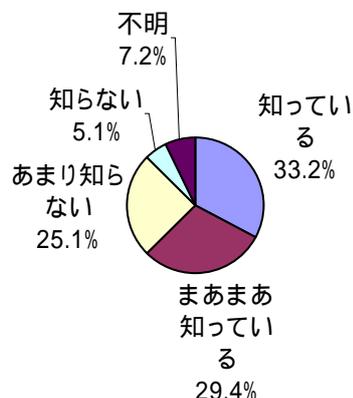
介護保険サービスの認知度は、知っていると名前は知っているが同数で合わせて約7割にのぼった。

(5) 高齢者福祉サービス (は1つ)

老人福祉センター、老人クラブ活動など高齢者全般の支援、サービスや一人暮らしなどで支援を必要とする高齢者への給食サービス、移送サービス、除雪サービス、生きがいデイサービス、自立支援ホームヘルプサービス、ふれあい訪問、緊急通報システム、ねたきり老人等介護手当などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(5)	回答数	構成比
知っている	78	33.2%
まあまあ知っている	69	29.4%
あまり知らない	59	25.1%
知らない	12	5.1%
不明	17	7.2%
合計	235	100.0%



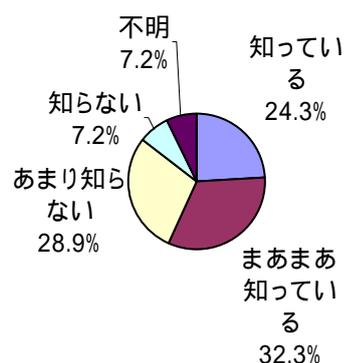
高齢者福祉サービスは、介護保険に比べやや認知度は下がっている。

(6) 障害者(障害児)福祉サービス (は1つ)

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられた方で、それぞれに利用できるサービスは異なりますが、補装具や日常生活用具の給付。医療費の助成、デイサービス、ホームヘルプサービス、短期入所、公共交通機関の割引、税法上の各種控除などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(6)	回答数	構成比
知っている	57	24.3%
まあまあ知っている	76	32.3%
あまり知らない	68	28.9%
知らない	17	7.2%
不明	17	7.2%
合計	235	100.0%



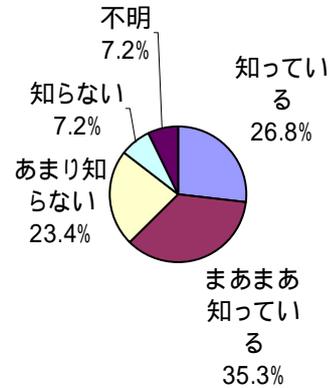
障害者(児)サービスは、さらに認知度が下がり、まあまあ知っているが最も多くなっていて、次いであまり知らないが続いている。

(7) 児童福祉サービス (は1つ)

保育所(一時保育、子育て支援センター等)、児童館、学童保育、乳幼児医療費の助成、各種児童手当などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(7)	回答数	構成比
知っている	63	26.8%
まあまあ知っている	83	35.3%
あまり知らない	55	23.4%
知らない	17	7.2%
不明	17	7.2%
合計	235	100.0%

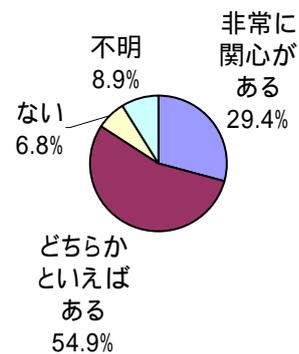


児童福祉サービスは、障害者(児)サービスよりは認知度は高いが、同様にまあまあ知っているが最も高い。

問9 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。(は1つ)

1. 非常に関心がある 2. どちらかといえば関心がある 3. 関心がない

問9	回答数	構成比
非常に関心がある	69	29.0%
どちらかといえばある	129	54.9%
ない	16	6.8%
不明	21	8.9%
合計	235	100.0%

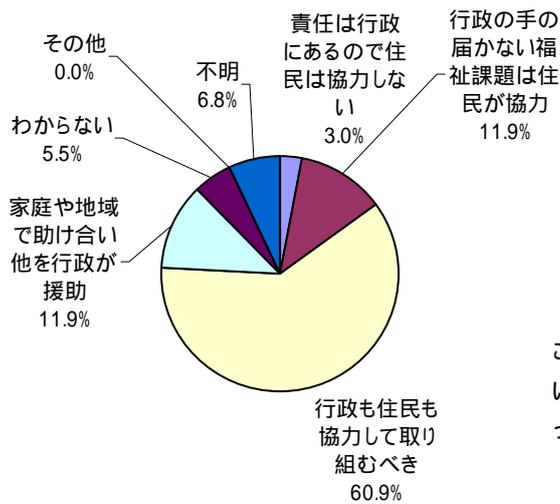


福祉の関心サービスは、どちらかといえばあると答えた方が過半数となり、非常に関心があると答えた方が3割となった。

問10 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。（ は1つ）

1. 福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない
2. 行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである
3. 福祉課題については、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである
4. 家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである
5. わからない
6. その他（具体的に)

問10	回答数	構成比
責任は行政にあるので住民は協力しない	7	3.0%
行政の手の届かない福祉課題は住民が協力	28	11.9%
行政も住民も協力して取り組むべき	143	60.9%
家庭や地域で助け合い他を行政が援助	28	11.9%
わからない	13	5.5%
その他	0	0.0%
不明	16	6.8%
合計	235	100.0%

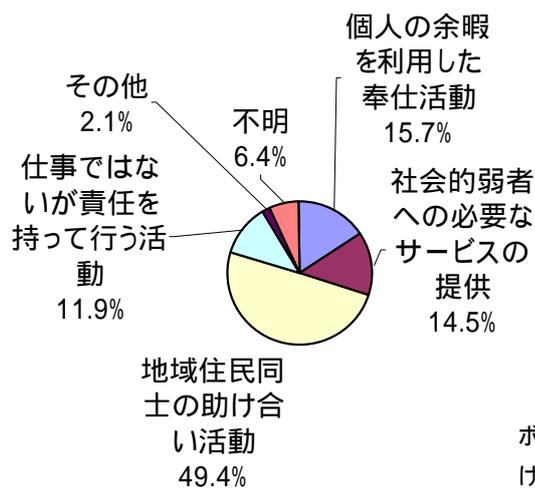


これからの福祉のあり方は、行政と住民が協力し合い、ともに取り組むべきと答えた方が最も多く、6割となった。

問 11 あなたは「ボランティア」についてどう考えますか。（ は1つ）

- 1．個人の余暇を利用した奉仕活動
- 2．社会的弱者への必要なサービスの提供
- 3．地域住民同士の助け合いとして必要な活動
- 4．仕事ではないが責任を持って行う活動
- 5．その他（ ）

問11	回答数	構成比
個人の余暇を利用した奉仕活動	37	15.7%
社会的弱者への必要なサービスの提供	34	14.5%
地域住民同士の助け合い活動	116	49.4%
仕事ではないが責任を持って行う活動	28	11.9%
その他	5	2.1%
不明	15	6.4%
合計	235	100.0%



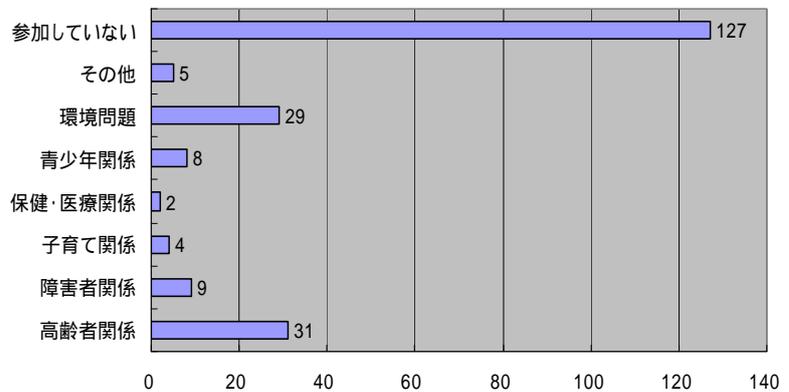
ボランティアについての考え方は、地域住民同士の助け合いと答えた方が約半数で、他に比べ顕著に多かった。

問12 現在、ボランティア活動等に参加している分野は何ですか？（該当するものに ）

1. 高齢者関係（友愛活動、クラブ活動等への協力支援や施設訪問交流など）
2. 障害者関係（車イス補助等社会参加・生活支援や施設訪問交流など）
3. 子育て関係（託児、育児相談や育児サークルなどの支援や施設訪問交流など）
4. 保健・医療関係（健康教室等の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など）
5. 青少年関係（悩み相談や交流、地域子ども会活動等による健全育成支援など）
6. 環境関係（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）
7. その他（具体的に ）
8. 参加していない

問12	回答数	構成比
高齢者関係	31	15.7%
障害者関係	9	14.5%
子育て関係	4	49.4%
保健・医療関係	2	11.9%
青少年関係	8	2.1%
環境問題	29	
その他	5	
参加していない	127	6.4%
合計	215	100.0%

*8重回答(4項目以上回答したものなし)

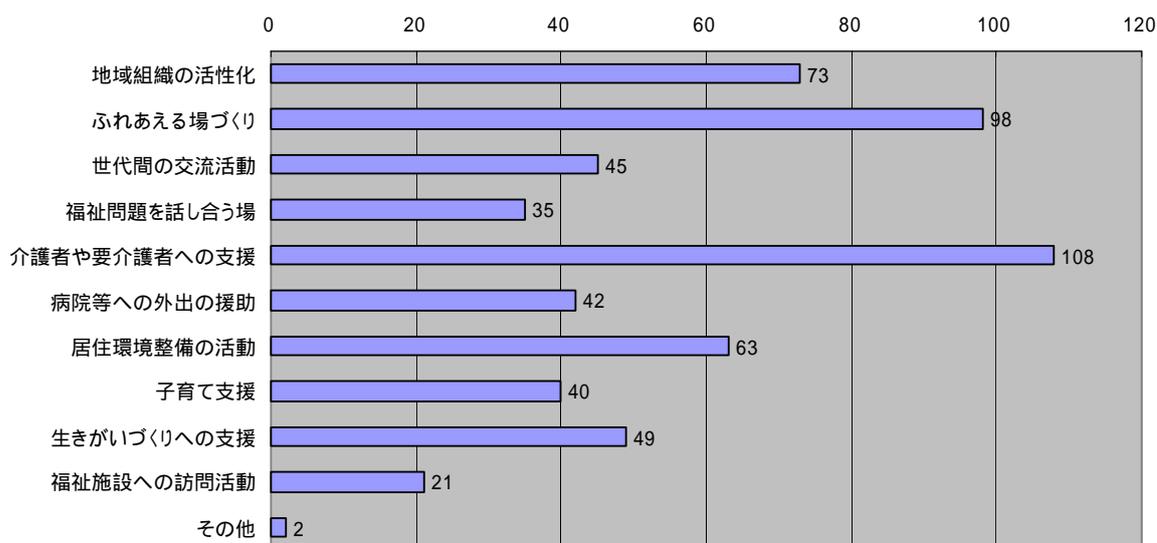


ボランティア活動等に参加している分野は、過半数が参加していないものに高齢者関係、環境関係が多くみられた。

問13 今後、地域住民は、どのような福祉活動に取り組むことが望ましいとお考えですか。（ は3つまで）

問13	回答数	構成比
地域組織の活性化	73	30.7%
ふれあえる場づくり	98	41.2%
世代間の交流活動	45	18.9%
福祉問題を話し合う場	35	14.7%
介護者や要介護者への支援	108	45.4%
病院等への外出の援助	42	17.6%
居住環境整備の活動	63	26.5%
子育て支援	40	16.8%
生きがいづくりへの支援	49	20.6%
福祉施設への訪問活動	21	8.8%
その他	2	0.8%
合計	576	242.0%

*3 重回答



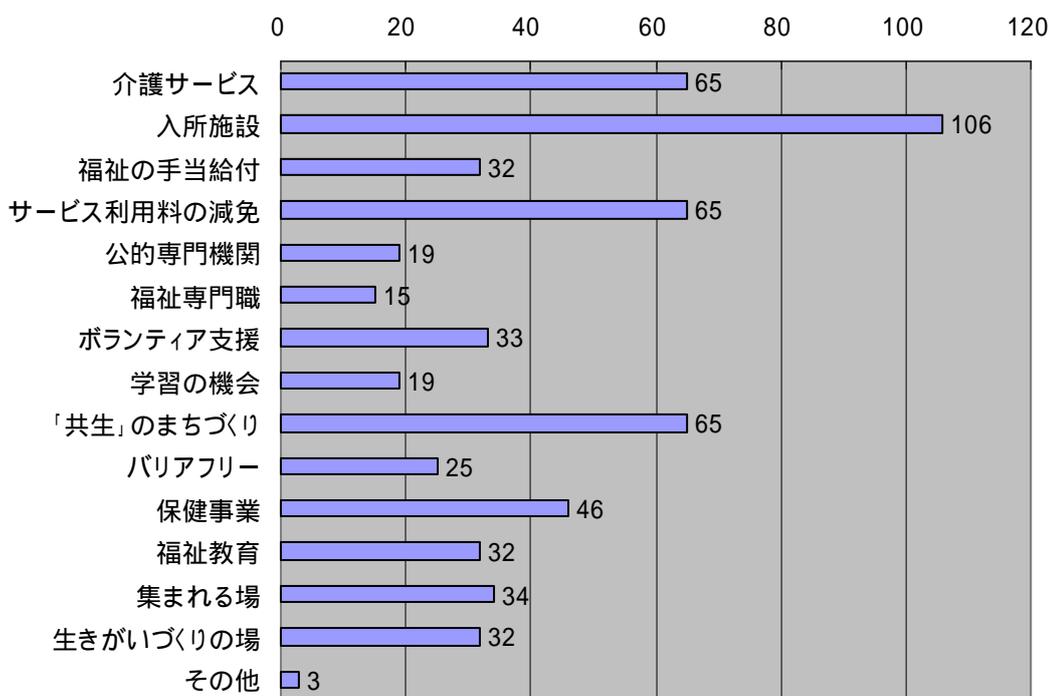
どのような福祉活動に取り組むことが望ましいかとの問いには介護者や要介護者への支援が最も多く、次いでふれあえる場づくりが続いている。

問14 今後、清水町にとって、ますます必要になると考えられるものを選んでください。（ は3つまで）

1. 在宅での生活を支援する介護サービスを充実させる
2. 高齢者や障害者等が入所できる施設を拡充する
3. 福祉に係る手当給付など金銭的な援助を行う
4. 福祉サービスの利用に伴う金銭的な負担を軽くする
5. 福祉の専門的支援が行える公的専門機関を設置する
6. 福祉の専門的援助ができる福祉専門職の配置を増やす
7. ボランティア活動に対する支援体制を充実させる
8. 福祉やボランティアに関する学習の機会を作る
9. 地域住民が助け合い支え合う「共生」のまちづくりの推進を図る
10. 道路の段差解消や公共機関などのバリアフリーを進める
11. 病気や寝たきりにならないための保健事業を充実させる
12. 学校等での福祉体験やボランティア活動など福祉教育を充実させる
13. 地域の人々が気軽に相談したり集まれる場を設置する
14. 社会参加を通じて生きがいづくりができる活動の場を確保する
15. その他（ ）

問14	回答数	構成比
介護サービス	65	27.3%
入所施設	106	44.5%
福祉の手当給付	32	13.4%
サービス利用料の減免	65	27.3%
公的専門機関	19	8.0%
福祉専門職	15	6.3%
ボランティア支援	33	13.9%
学習の機会	19	8.0%
「共生」のまちづくり	65	27.3%
バリアフリー	25	10.5%
保健事業	46	19.3%
福祉教育	32	13.4%
集まれる場	34	14.3%
生きがいづくりの場	32	13.4%
その他	3	1.3%
合計	591	248.3%

ますます必要となる考えるものは、入所施設が他に比べて顕著に多く、次いで介護サービス、サービス利用料の減免、「共生」のまちづくりと続いた。



問15 これからの「地域福祉」に対して寄せられた自由記載欄の『思い・意見』の数々です。

1. これから益々、高齢化社会を迎える中で福祉サービスが必要になりますが、限度があり、行政と地域住民がお互い話し合っただと進めるべきだと思います。 (50代、男性)
2. 行政機関に頼り過ぎた福祉は、いずれ破綻するので、基本的には個人や家族が助け合い解決すべき。必要な部分のみ、行政に頼るべき。 (40代、男性)
3. 自分が高齢者になったときの事を考え、行政に頼るのではなく、一人一人が自分ができることは何かを考え、自分の事は自分で行うという気持ちが大切になっていくと思います。 (50代、男性)
4. 高齢化社会が益々進むにつれ、総合的に援助対策が求められると思いますので、これからもその対応が必要だと思います。 (60代、男性)
5. 町民皆が福祉活動に関心持つことを望みます。 (70代、女性)
6. 地域づくりは人づくり、地域の福祉の担い手は沢山います。
その潜在能力を引き出すには、光とチャンスが必要。その知恵を行政は発揮してほしいとねがいます。特定の人材、組織に頼っているばかりでは、複層的な人材育成は果たせません。 (50代、女性)
7. 今後、老人、障害者が増加すると思われるので専門機関の設置が望ましい。
一例では、フロイデの温泉を利用して、産学協同のリハビリ研究所を作り、身体的、精神的リハビリを行う。看護師も頭数だけ揃えば良いものではない。
質を高めるためにも養成所を併せ設置すると患者は助かる。 (70代、男性)
8. 福祉問題ばかりでなく、行政がする公共事業の中、地域できることがあると思います。そういう活動を移動援助を、公共行政が考えるべきではないかと思う。現代の若い世代は、隣近所の声かけすら出来ないような時代になりつつある事を、非常に心が痛む。 (70代、男性)
9. 福祉施設、特に老人介護の体験を評価、又は義務化し、その実績を就職及び将来、福祉施設利用条件の一つとして評価される仕組みを考え、独自に福祉精神を育てる必要があると思うのですが？ (70代、男性)
10. 現在、健康な家庭、若い世代の人たちの理解が必要に思う。
口では、今後、高齢者が多くなり、福祉・介護の問題について考えるが、現実には金銭的、ボランティアには、なかなか協力してもらえない。 (60代、男性)
11. 第一に、清水町全体の活性化が。福祉の問題は、どこの町村でも問題がありすぎて、これでいいという町村はないと思う。清水町は経済的にも苦しく、町民一人ひとりが福祉を考えるべきだ。国にも責任はあると思う。 (60代、男性)
12. ・公平な福祉活動を受けれる仕組み
・建て前でない心に入った活動=全員の意識の周知、統一 (強者と弱者の認識差の縮小)
・最少必要項目・内容だけの計画立案(ゼロベース積み上げ式) (60代、男性)

- 13．住民がはっきりわかる福祉、たとえば支援や援助にしてもわかりづらい。
高齢者には、特にわかりづらいです。わかりやすく、簡単に。 (50代、女性)
- 14．一人暮らしや夫婦二人暮らしの家庭が多くなると思うので、隣近所の安否の確認がスムーズにできるようなればいいと思う。日頃からの交流が大切かもしれません。 (50代、女性)
- 15．福祉の充実はもっとも必要な事だが、そのためにも高齢者に対する協力を強要したり、重大な責任を負わせることにならない様にしてもらいたい。 (70代、男性)
- 16．健康が第一、御影にお世話になってから間がありません。自分もそうですが、老齢になると話合いの機会が必要と常に考えております。孤独な環境をなくそう... (70代、男性)
- 17．当地に来て、まだ3年目ですので、いろいろな面で手探りの状態です。
これから勉強していききたいと思います。 (60代、男性)
- 18．保健医療の利用に伴う金銭的援助を行って欲しいです。 (60代、女性)
- 19．「地域の福祉」が、身近なものとして実感できていないと思う。それは、身の回りにある福祉が、自分とかかわりのない行政の中で進められていると、感じているからではないでしょうか？特に小・中・高校生に、自分たちが、自分たちの地域で、参加貢献できることがあると気づかせてあげたい。 (30代、男性)
- 20．「福祉」という言葉が漠然としていて、よくわかりません。
私が心がける福祉とは、困っている人を見かけると手助けするというこくらしいです。
もっと福祉が身近な存在になればよいのですが...。今はまだ、「福祉」という言葉が一人歩きしているように思われます。 (20代、女性)
- 21．若い方々が地方へ行かず、安心して働く職場がほしい。そうすれば、清水町にも若い人が増え、高齢者も安心して暮らせると思います。 (60代、女性)
- 22．何かにつけ、プライバシー保護というが、どうかと思います。 (60代、男性)
- 23．清水町には特養が1施設ありますが、我々も特養を利用することになる。
なかなか入れないと聞いている。高齢化社会のため、誰にでも入りやすい所が望ましい。 (60代、男性)
- 24．清水町には知的障害者の更生施設があります。
そこの利用者の皆さんが自然に、地域の住民と溶け合って、日々の生活ができれば素晴らしいと思います。 (50代、女性)
- 25．色々な施設がありますが、多くのものは中心地にあります。
歩いて5分程で行ける人、町の遠いところに住んでいる人は車に乗り、ガソリンを使って行かなければならない。この不公平をなくしてほしい。 (70代、男性)
- 26．設問14を見てもわかるように、いずれも大事なことだと思う。要は、行政は行政の出来る事を、住民は住民として出来る事を、協力して精一杯対応する事だと思う。
但し、福祉行政を行う場合は、住民の目線に立って行うべきである。 (70代、男性)

27. 経費節減の介護サービスは、在宅介護だと思いましたが、問題になることは、冬期間（特に地方）の交通手段をどう解決するかだと思います。（60代、男性）
28. 私は、お金が安く、入所できる場所をお願いしたいです。
年金暮らしなので心配しています。（60代、女性）
29. 介護や支援を必要としているときに、速やかにサービスを受けられるようにして欲しい。
事務的な手続きなどに、時間がかかりすぎていると思う。（20代、女性）
30. 行政が考えていることを、そのまま住民に伝えるのは、大変むずかしい作業ですね。逆に住民が思っていることを、直接行政へ伝える窓口の充実も重要かと思います。（40代、男性）
31. 私も2ヵ所の福祉活動していますが、なかなか自分がその立場にならないと、どの様なことをして欲しいか、わからないでいる人が沢山います。
町内を始め、身近な所から始められたらと思います。良い町になるといいですね。（60代、女性）
32. 健康なかがり、ボランティア活動を続けたいと思います。（70代、不明）
33. 私は71歳になり今は健康ですが、いつか皆様のお世話になると思います。今の内、少しでも町民の何かのお手伝い出来る様、心掛けています。現在何もボランティア活動をしておりません。反省しております。（70代、女性）
34. 私は高齢ですので、無理なお手伝いは出来ませんが、お料理等を気軽に届けたり、一寸したお買物のお手伝いが出来たら良いと思います。
（ボランティア、福祉と大げさに云う前に）（70代、女性）
35. 主人が軽い痴呆ですので、外へ出たがるのをおさえる事は、良いのか悪いのかと、いつも考えています。他人に迷惑をかけるのは辛いですが、外出をしたがる主人の気持ちをおさえるのはもっと辛いです。痴呆の老人も、大手を振って出かけて行く場所が欲しいです。（70代、女性）
36. 自分の体が不自由になった時の、福祉施設の充実が必要だと思います。（60代、女性）
37. 新得町みたいに、国とか財団法人の支援が受けられるような施設の建築の確保など。気軽に相談できる役場づくり。（50代、男性）
38. 現在は少家族になってますので、在宅介護になった時又は退院後の療養的場所があれば...と思います。自分自身が福祉に対する勉強不足を感じますので、これからは少し勉強したいと思います。（70代、女性）
39. 今回自分たちが福祉にお世話になって思いました。毎年高齢化の進む中、障害者が入所できる施設を拡充してほしいと思います。（60代、女性）
40. 農村地域であり、高齢者で、町の施設で何かあっても気軽に参加できません。
健康づくり、生き甲斐づくりが一番大切な事だと考えています。もっと社会参加して生き甲斐づくりが出来たらと思います。（70代、女性）

- 41．地域の人達の顔が見られる、声のかけあえる、場があるといいと思います。
(50代、女性)
- 42．まだまだ高齢者も元気な方が多くおられるので、地域でボランティア活動を。
特に今後は公民館、学校統合の跡の施設の福祉施設への利用と作業場に。
(70代、男性)
- 43．私の住んでいる近くに、高齢の一人暮らしの方がいらっしゃいます。時々買い物に連れて行ったり、ゴミの整理等を手助けしていますが、自分で出来ることは自分でやる、その心構えには、私も沢山教えられる事があります。行政も町民も出来ることは他人に頼らず、しっかり暮らして行きたいですね。
(60代、女性)
- 44．高齢者の健康な人、福祉サービスを受けられる人、この中間の独居老人の中に（特に農村地帯）日中、話相手もなく、淋しい1日を過ごしている方が、結構おられるようです。
この方たちの憩いの場があると良いと思っています。
(70代、女性)
- 45．地域発展のためには、何よりも隣近所が仲良くお互いに助け合える事が、一番大事な事だと思います。専門的なむづかしい事はわかりませんが、助け合いの心が大切だと思います。
(70代、女性)
- 46．若い時から一生懸命、皆様の為につとめて下さいました皆様に、お礼返しのために手伝わせていただきます。
(70代、女性)
- 47．健康な時に弱者の面倒を見る事、の普及。
(70代、男性)
- 48．もっと教育の中に、福祉施設の訪問など、まだ小・中学校を通じて、その家族のボランティアの参加を呼びかけてみてはどうか。学校に関しても、「ゆとり教育」の中に取り組む。ゆとり教育を大いに活用して、学生の参加を煽ってみては？
そういう活動もなければ、ゆとり教育の意味がないと思う。
(20代、女性)
- 49．小中学校での福祉活動を実体験するための時間を拡充する。
(40代、男性)
- 50．老人が多いと云う事ですが、自分のことはできる老人は良いと思います。
が、入院して動くことすら出来ず、点滴等でつながれていると云う事は、本人は尚のこと、家族にとっても、いたたまれず、本当に困った問題かと思っています。私なら、今考えるのは、病んだ時のみ、モルヒネでいきたいと思っています。
(70代、女性)
- 51．老後に不安があります。
(50代、女性)
- 52．少子高齢社会になって来ていますので、行政と地域住民が一体となって、取り組んでいてもらいたいと切にお願い致します。
(60代、女性)
- 53．病院に通院している成年達に、心のケアの充実した内容の事を、関心を持ってほしい。明るいまち作り、実のある行政を、学校の授業についていける人になる様に、老人の介護に必要なスタッフと家族の協力を。
(50代、女性)
- 54．高齢者、子育てをしている人を、支援できる地域でありたい。
(50代、男性)

- 55．子供が小さくても、安心して働ける仕事場を増やしてほしいです。 (40代、男性)
- 56．これからは、皆が手を取り合って助け合い、特に老人には、やさしくしてあげなくてはならないとおもう。 (50代、男性)
- 57．乳幼児を持つ家庭、共働きをしている家族、高齢者の家庭、介護をしている家庭など立場が様々です。清水町に住む町民、一家庭ごとに、要望など聞くアンケートなど配布してみると、より町民がなにを必要としているのか、わかるのではないのでしょうか？ (40代、女性)
- 58．他の市町村に劣らない恵まれた福祉の整っている清水に、お世話になっている事を、ここに改めてお礼申し上げます。これからも親子ともども何かとお世話になります事、よろしく願います。また子育てを通して体験してきた事、私のできる事があれば、お手伝いさせていただきたく思っています。 (50代、女性)
- 59．自然豊かな町です。誰でも声がけできる和やかな町になってほしいです。 (70代、不明)
- 60．住み良い清水町であることを望みます。 (60代、男性)
- 61．ぼくは、清水のまちで、ずっとくらしたいと思っています。うちをはなれても、清水のまちでくらするといいなとおもっています。ずっと清水のまちでくらしにいけるように、しててください。 (30代、男性)
- 62．年金を支えにして居ります者に、介護保険料の負担はひどいと思います。一律でないのも納得ゆきません。 (不明、女性)
- 63．介護保険制度について、よく知らない。
ちなみに、介護にどれくらい費用がかかるか、見当もつかないです。 (70代、男性)
- 64．福祉というのとは違うかもしれませんが、現在、保育所に子供2人を入所させています。保育時間が最大17：30までというのが、農家にとっては迎えが大変です。夏場は特に。畑や畜舎での仕事もあるので。芽室町では、18：30位まで預けられるそうですが...。そして不思議なのが、仕事を持たない人の子供の入所。稼動証明を出しているはずなのに、仕事を持たない人の子供が、なぜ入所できるのか。時々不信を抱いてしまいます。働いている者にとっては、これは不満だと思います。どうお考えでしょうか？ (30代、女性)
- 65．高齢者、障害への支援については最も大切なことだが、少子化対策のためにも、乳幼児を持つ親への子育て支援も、もっと充実してほしい。例えば、保育所の一時保育の充実。(自由に預かってくれる場所がほしい) (20代、女性)
- 66．地域の学校、保育所が合併になってしまいますが、低学年用の帰りのバスを、出してもらえれば良いと思っております。 (70代、女性)
- 67．現在の福祉関係のトップになっている人々は、本当に住民の為に活動されているのでしょうか？自分の為にしているのではないのでしょうか？その為に多くの予算が、使われているように思えます。一部の人間が良い思いをしているのでは、福祉ではないですね。 (50代、女性)

- 68．各町村会に福祉係を設けていますが、何ら活動の意が見えてこない。
行政担当者の指導の強化をお願いします。 (60代、女性)
- 69．高齢者が脳梗塞とかで、身体障害者で十分に身体の機能を活動出来ない方が見受けられるが、その様な方の身体障害者としての手続き等を、お話しして世話をすべきだと思う。
地域の民生委員として、何ら活動しておらず。しっかり人を推薦せよ。 (70代、男性)
- 70．福祉とは少し違いますが、町内会長及び健康推進委員が何10年もおなじ人で余りにもワンマンなので、若い有能な人に代わっていただき、自由に物が言える地域を、切に望みます。
我慢も限界にきています。 (70代、女性)
- 71．直接福祉には関係ないが、町職員の役職手当がありすぎでは。一人が2つも3つも役職につくのはおかしい。その手当を減らして、福祉に当てては？ (50代、男性)
- 72．議員定数を10人にし、その分を福祉にあてる。 (60代、男性)
- 73．福祉、奥深くて、むつかしい……！ (70代、女性)
- 74．福祉計画が充実したものに、なります様に。 (50代、女性)
- 75．町として、余り無理のない程度で、地域福祉計画をお願いします。 (70代、女性)

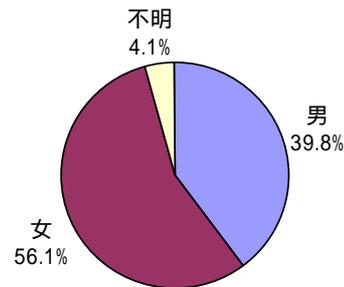
アンケート調査実施結果

清水中学校 3 年生	72 人
御影中学校 3 年生	25 人
清水高校生（ボランティアサークル）	26 人

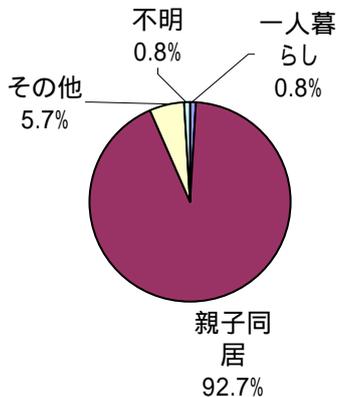
問1 あなたの性別、年齢、世帯構成、住んでいる地区をお答えください。

性別	1. 男 2. 女
年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代
世帯構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦2人暮らし 3. 親子同居暮らし 4. その他
居住地区	1. 清水市街 2. 御影市街 3. 清水農村 4. 御影農村

性別	回答数	構成比
男	49	39.0%
女	69	56.1%
不明	5	4.1%
合計	123	100.0%

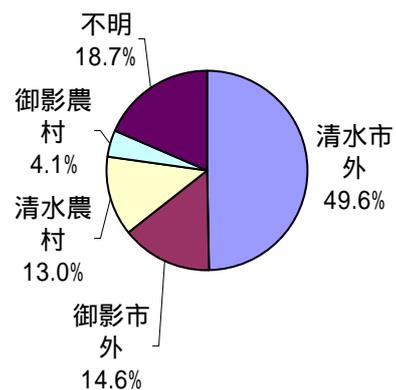


回答数の男女はほぼ男1に対し、女1.4となっている。



世帯構成	回答数	構成比
一人暮らし	1	0.8%
親子同居	114	92.7%
その他	7	5.7%
不明	1	0.8%
合計	123	100.0%

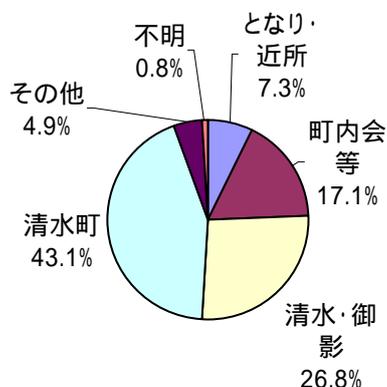
居住区	回答数	構成比
清水市外	61	49.6%
御影市外	18	14.4%
清水農村	16	13.0%
御影農村	5	4.1%
不明	23	18.7%
合計	123	100.0%



問2 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。

1. となり、近所という範囲 2. 町内会、農事組合という範囲
3. 清水、御影という範囲 4. 清水町という範囲 5. その他

問2	回答数	構成比
となり・近所	9	7.3%
町内会等	21	17.1%
清水・御影	33	26.8%
清水町	53	43.1%
その他	6	4.9%
不明	1	0.8%
合計	123	100.0%



地域の範囲は、清水町と答えた方が最も多く、清水・御影と合わせると約7割となり、比較的大きな単位を地域と捉える傾向がみられた。

問3 あなたは、地域とのつながりがあると思いますか。（は1つ）

1. つながりはあると思う 2. つながりはないと思う 3. わからない

（問3で1とお答えになった方にお聞きします。）

（問3で2とお答えになった方にお聞きします。）

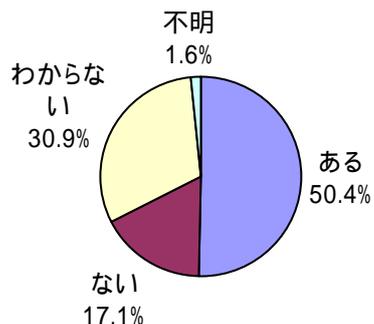
問3 - (1) どのような時つながりがあると思いますか。（は3つまで）

1. となり、近所のおつきあいのなかで
2. 町や地域の行事の参加のなかで
3. サークル活動のなかで
4. 学校（時代）の友人とのなかで
5. 仕事の関係のなかで
6. その他（ ）

問3 - (2) どのような時つながりがないと思いますか。（は3つまで）

1. あまり知らないから
2. 関わる時間がないから
3. 関わる機械がないから
4. 家族にまかせているから
5. なんとなく
6. その他（ ）

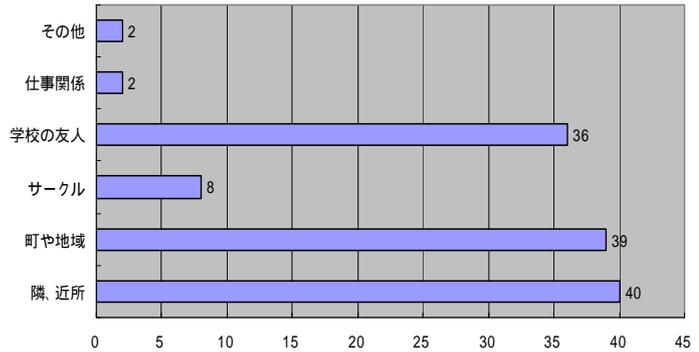
問3	回答数	構成比
ある	62	50.4%
ない	21	17.1%
わからない	38	30.9%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%



地域とのつながりは、あると答えた方が全体の約2分の1となった。

問3 - (1)	回答数	構成比
隣、近所	40	64.5%
町や地域	39	62.9%
サークル	8	12.9%
学校の友人	36	58.1%
仕事関係	2	3.2%
その他	2	3.2%
合計	127	204.8%

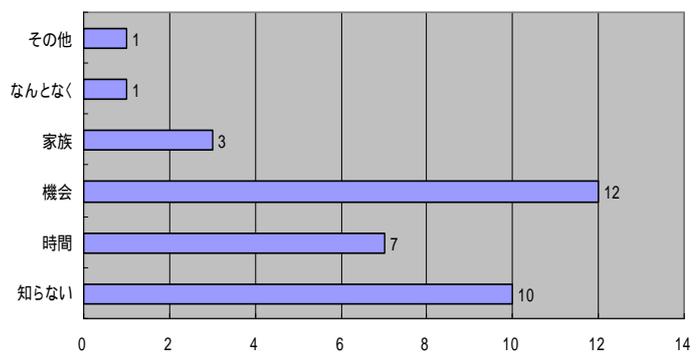
*3重回答



つながりがあると答えらうち、近所の付き合いと地域の行事、学校の友人と答えら方が多かつた。

問3 - (2)	回答数	構成比
知らない	10	47.6%
時間	7	33.3%
機会	12	57.1%
家族	3	14.3%
なんとなく	1	4.8%
その他	1	4.8%
合計	34	161.9%

*3重回答



つながりがないと答えらうち、機会がないと答えら方が過半数で、次いであまり知らないからと答えら方が多かつた。

問4 あなたは、地域の中で、「人の手助け」をしたことがありますか。(は1つ)

1. 自分からすすんでしている 2. 頼まれてしている 3. したことがない

(問4で1、2とお答えになつた方にお聞きします。)(問4で3とお答えになつた方にお聞きします。)

問4 (1) どんない手助けをしましたか。(行っているもの全てに) 問4 - (2) 今後、機会があれば、手助けしてみたいですか。(は1つ)

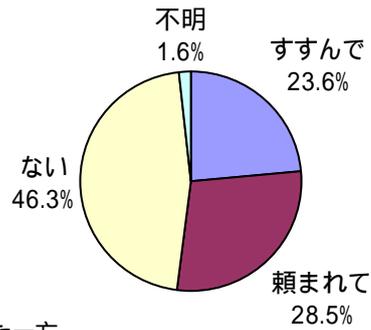
1. 安否確認の声かけ
2. 趣味などの話し相手
3. ちょっとした買い物
4. 玄関前除雪
5. ゴミ出し
6. 玄関前掃除
7. 短時間の子どもの預かり
8. 子育ての相談
9. その他
[具体的に]

1. 機会があれば 2. してみたいと
してみたい 思わない

(問4 - (2)で1とお答えになつた方にお聞きします。
実際に手助けするには何が必要と思ひますか。(は3つまで)

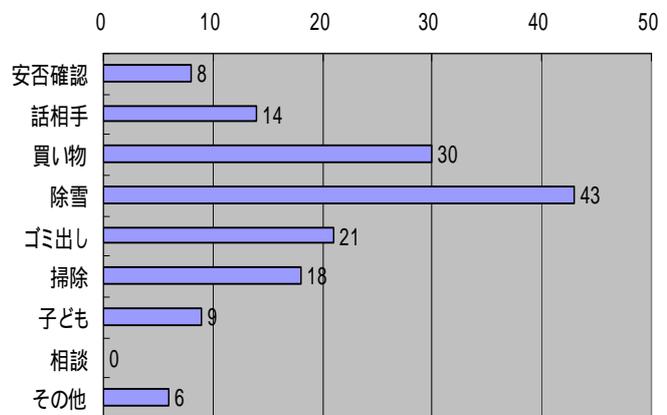
1. 時間のゆとり
2. 気持ちのゆとり
3. 活動できる場などの情報
4. 一緒に活動する仲間
5. 活動が有償であること
6. 家族の協力
7. その他 []

問4	回答数	構成比
すすんで	29	23.6%
頼まれて	35	28.5%
ない	57	46.3%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%



人助けをしたことがあるかは、半数弱がないと答えた一方、すすんで行くと頼まれれば合わせると半数以上あった。

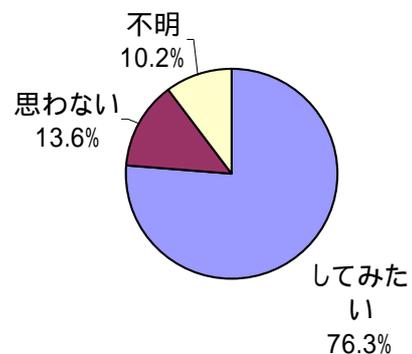
問4 - (1)	回答数	構成比
安否確認	8	12.5%
話相手	14	21.9%
買い物	30	46.9%
除雪	43	67.2%
ゴミ出し	21	32.8%
掃除	18	28.1%
子ども	9	14.1%
相談	0	0.0%
その他	6	9.4%
合計	149	232.8%



*9 重回答

人助けの内容は、除雪、買い物、ゴミ出し、掃除など生活に必要な支援が多くなっているのが特徴であった。

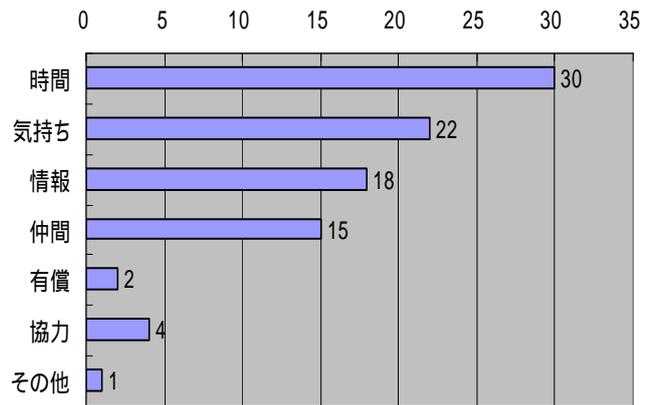
問4 - (2)	回答数	構成比
してみたい	45	78.9%
思わない	8	14.0%
不明	6	10.5%
合計	59	103.5%



人助けをしたことがないと答えた方の8割弱が機会があればしてみたいと答えている。

問4 - (2) 1	回答数	構成比
時間	30	66.7%
気持ち	22	48.9%
情報	18	40.0%
仲間	15	33.3%
有償	2	4.4%
協力	4	8.9%
その他	1	2.2%
合計	92	204.4%

*3 重回答

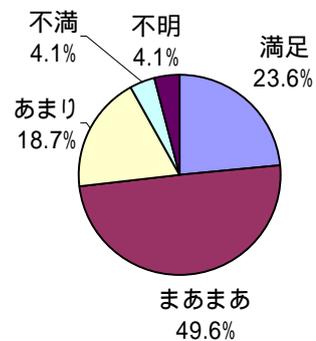


機会があればしてみたいと答えた方が何が必要かとの問には、時間や気持ちのゆとりと答える方が多く、情報や仲間といった回答も多くみられた。

問5 現在のご近所とのつきあいに満足していますか。(は1つ)

1 満足している 2 まあまあ満足している 3 あまり満足していない 4 不満である

問5	回答数	構成比
満足	29	23.6%
まあまあ	61	49.6%
あまり	23	18.7%
不満	5	4.1%
不明	5	4.1%
合計	123	100.0%



近所付き合いの満足度は、まあまあが約半数を占める満足と合わせると7割強となる。

問6 あなたは、この清水町に今後も住み続けたいと思いますか。(は1つ)

1. ずっとすみ続けたい 2. 機会があれば引っ越したい 3. 考えたことがない

(問6で1と答えられた方にお聞きします。)

(問6で2と答えられた方にお聞きします。)

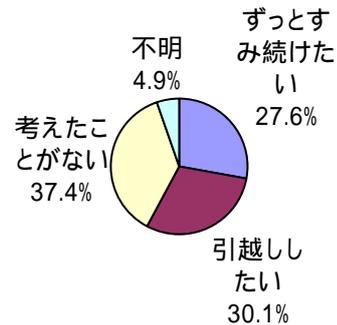
問6 - (1) どのような点ですみ続けたいと思いますか。(は3つまで)

1. 家、土地があり昔から住んでいるから
2. 近所づきあいが良いから
3. 近くに友人、知人、親類がいるから
4. 自然環境がよいから
5. 買い物など生活に便利だから
6. 医療サービスが整っているから
7. 福祉サービスが充実しているから
8. 働く場(職場)があるから
9. 子育てや教育環境が整っているから
10. 文化・スポーツ等の環境が整っているから
11. その他()

問6 - (2) どのような点で引っ越したいと思いますか。(は3つまで)

1. 近所づきあいが良くないから
2. 買い物など生活に不便だから
3. 通勤・通学に不便だから
4. 医療サービスが整っていないから
5. 福祉サービスが充実していないから
6. 働く場所がないから
7. 子育てや教育環境が整っていないから
8. 文化・スポーツ等の環境が整っていないから
9. 楽しめる場所がないから
10. その他()

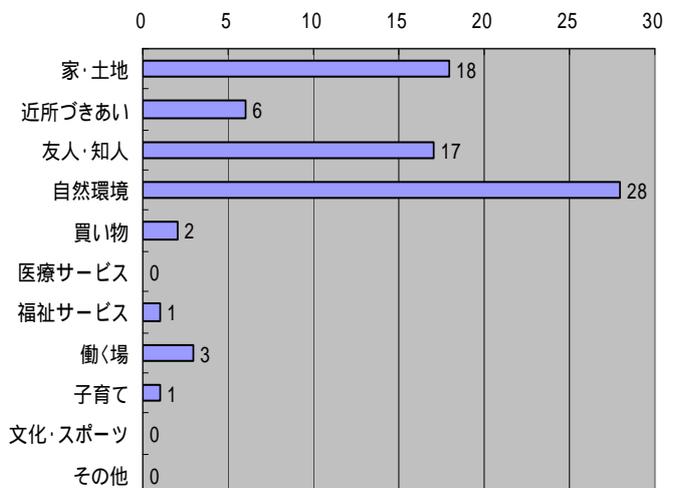
問6	回答数	構成比
ずっとすみ続けたい	34	27.6%
引っ越したい	37	30.1%
考えたことがない	46	37.4%
不明	6	4.9%
合計	123	100.0%



清水町に住み続けたいかとの問には、考えたことがないが最も多く、次いで引っ越したい、ずっと住み続けたいと続いている。

問6 - (1)	回答数	構成比
家・土地	18	52.9%
近所づきあい	6	17.6%
友人・知人	17	50.0%
自然環境	28	82.4%
買い物	2	5.9%
医療サービス	0	0.0%
福祉サービス	1	2.9%
働く場	3	8.8%
子育て	1	2.9%
文化・スポーツ	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	76	223.5%

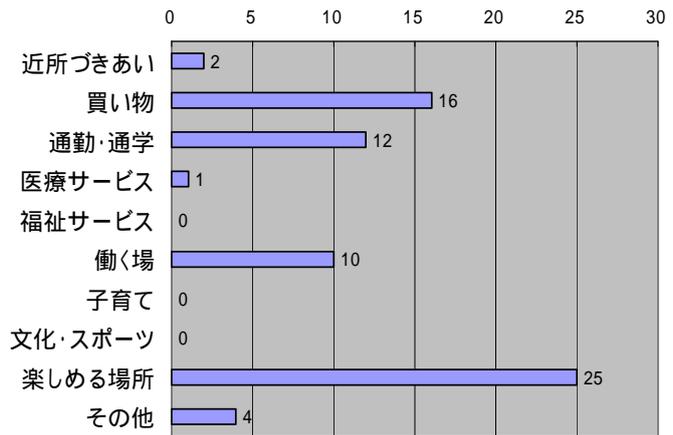
*3重回答



ずっと住み続けたい理由は、自然環境が理由とする方が8割強と他と比べ際立って多かった。

問6 - (2)	回答数	構成比
近所づきあい	2	5.4%
買い物	16	43.2%
通勤・通学	12	32.4%
医療サービス	1	2.7%
福祉サービス	0	0.0%
働く場	10	27.0%
子育て	0	0.0%
文化・スポーツ	0	0.0%
楽しめる場所	25	67.6%
その他	4	10.8%
合計	70	189.2%

*3 重回答



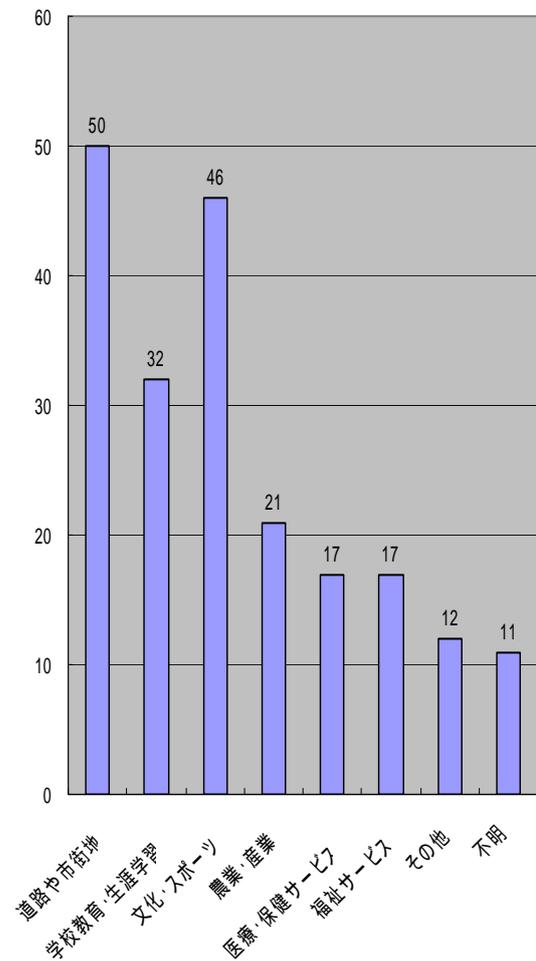
機会があれば引っ越したいと答えた方の理由は、買い物と通勤・通学を理由にあげる方が多く、次いで働く場となった。

問7 これからの清水町に期待するものは何ですか。(は2つ)

1. 道路や市街地の整備
2. 学校教育・生涯学習
3. 文化・スポーツの振興
4. 農業や産業の振興
5. 医療・保健サービスの充実
6. 福祉サービスの充実
7. その他()

問7	回答数	構成比
道路や市街地	50	21.3%
学校教育・生涯学習	32	13.6%
文化・スポーツ	46	19.6%
農業・産業	21	8.9%
医療・保健サービス	17	7.2%
福祉サービス	17	7.2%
その他	12	5.1%
不明	11	4.7%
合計	206	87.7%

*2 重回答



これからの清水町に期待するものは何かとの問には、道路や市街地の整備、文化・スポーツの振興を答える人が多かった。次いで学校教育・生涯学習の振興が続いた。

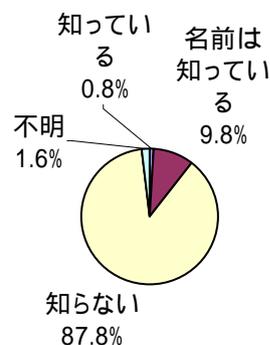
問8 清水町には町や社会福祉協議会などが行っている様々なサービスがあります。
次の(1)～(7)をご存知ですか

(1) 民生児童委員 (は1つ)

担当地域における手助けが必要な人に対して、相談・指導・助言などを行っている、厚生労働大臣が委嘱した、町民への奉仕者です。

1. 活動内容を知っている 2. 名前は知っている 3. 知らない

問8(1)	回答数	構成比
知っている	1	0.8%
名前は知っている	12	9.8%
知らない	108	87.8%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%



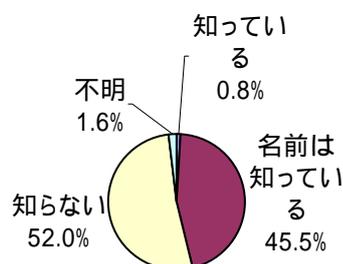
民生委員の認知度は、知っているが約1割で、約9割弱は、ほとんど認知されていなかった。

(2) 社会福祉協議会 (は1つ)

地域住民が主体となって、地域における福祉の問題を解決し、改善を図る法に基づく法人(民間の非営利団体)です。

1. 活動内容を知っている 2. 名前は知っている 3. 知らない

問8(2)	回答数	構成比
知っている	1	0.8%
名前は知っている	56	45.5%
知らない	64	52.0%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%



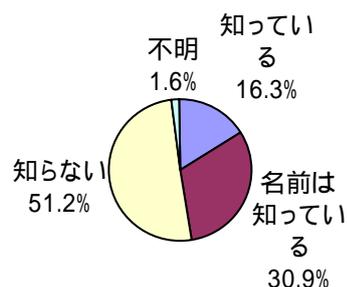
社会福祉協議会は、知らないが半数強あるが、名前は知っているも半数弱にのぼった。

(3) 在宅介護支援センター (は1つ)

在宅で介護が必要、もしくはそのおそれのある高齢者または家族に対してセンターに1ヶ所、町内の薬局5ヶ所に『まちかど相談所』があります。

1. 活動内容を知っている 2. 名前は知っている 3. 知らない

問8(3)	回答数	構成比
知っている	20	16.3%
名前は知っている	38	30.9%
知らない	63	51.2%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%



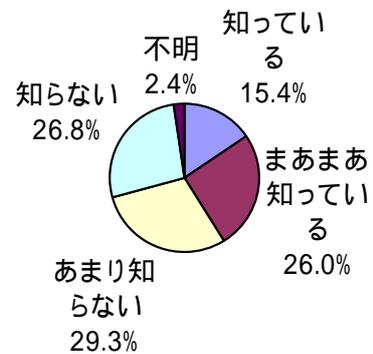
在宅介護支援センターは、知らないと答えた方が半数強いる一方、約3割が名前は知っていると答え、知っていると答えた方も6分の1にのぼった。

(4) 介護保険サービス (は1つ)

要介護・要支援認定をされている方が利用できるサービスです。訪問介護、訪問看護、訪問入浴、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所、福祉用具、住宅改修、介護保険施設の入所などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(4)	回答数	構成比
知っている	19	15.4%
まあまあ知っている	32	26.0%
あまり知らない	36	29.3%
知らない	33	26.8%
不明	3	2.4%
合計	123	100.0%



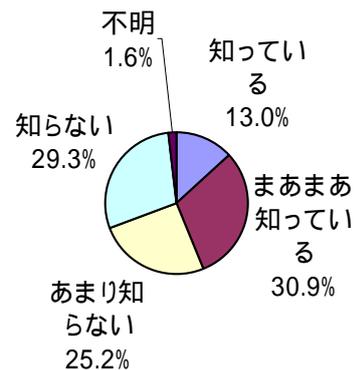
介護保険サービスの認知度は、知っていると名前は知っているが同数で合わせても約4割で、知らないとあまり知らないを足すと過半数となった。

(5) 高齢者福祉サービス (は1つ)

老人福祉センター、老人クラブ活動など高齢者全般の支援、サービスや一人暮らしなどで支援を必要とする高齢者への給食サービス、移送サービス、除雪サービス、生きがいデイサービス、自立支援ホームヘルプサービス、ふれあい訪問、緊急通報システム、ねたきり老人等介護手当などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(5)	回答数	構成比
知っている	16	13.0%
まあまあ知っている	38	30.9%
あまり知らない	31	25.2%
知らない	36	29.3%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%



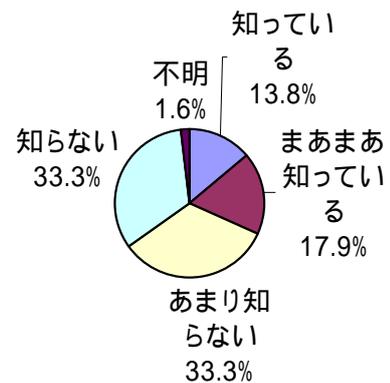
高齢者福祉サービスは、介護保険とほぼ同様の傾向であった

(6) 障害者(障害児)福祉サービス(は1つ)

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられた方で、それぞれに利用できるサービスは異なりますが、補装具や日常生活用具の給付。医療費の助成、デイサービス、ホームヘルプサービス、短期入所、公共交通機関の割引、税法上の各種控除などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(6)	回答数	構成比
知っている	17	13.8%
まあまあ知っている	22	17.9%
あまり知らない	41	33.3%
知らない	41	33.3%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%



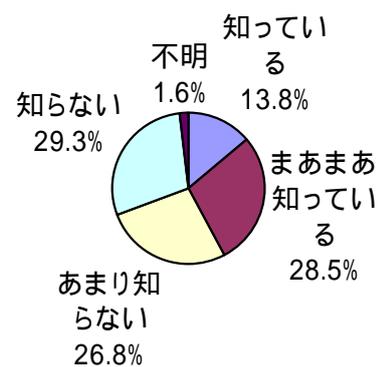
障害者(児)サービスは、さらに認知度が下がり、知らない、あまり知らないが同数で3分の1ずつとなっている。

(7) 児童福祉サービス(は1つ)

保育所(一時保育、子育て支援センター等)、児童館、学童保育、乳幼児医療費の助成、各種児童手当などのサービスがあります。

1. 知っている 2. まあまあ知っている 3. あまり知らない 4. 知らない

問8(7)	回答数	構成比
知っている	17	13.8%
まあまあ知っている	35	28.5%
あまり知らない	33	26.8%
知らない	36	29.3%
不明	2	1.6%
合計	123	100.0%

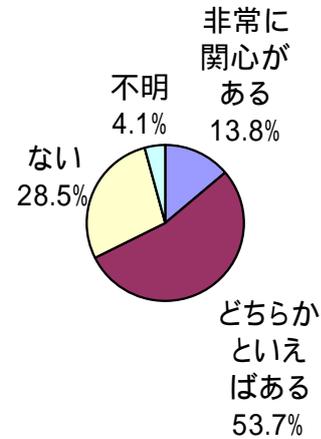


児童福祉サービスは、介護保険サービスや高齢者サービスとほぼ同様の傾向を示している。

問9 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。(は1つ)

- 1.非常に興味がある 2.どちらかといえば興味がある 3.興味がない

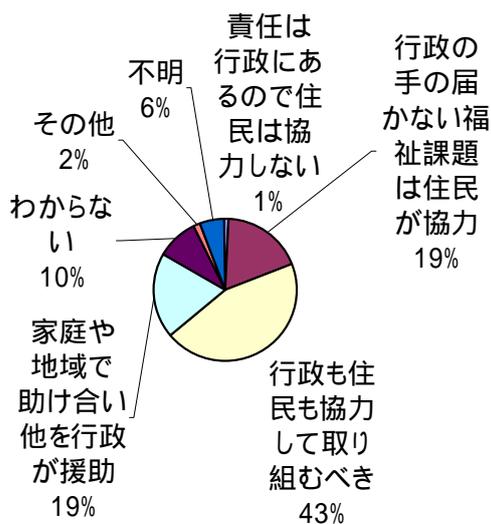
問9	回答数	構成比
非常に興味がある	17	13.8%
どちらかといえばある	66	53.7%
ない	35	28.5%
不明	5	4.1%
合計	123	100.0%



福祉の関心は、どちらかといえばあると答えた方が過半数となり、ないと答えた方が3割弱となった。

問10 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。(は1つ)

- 1.福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない
 2.行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである
 3.福祉課題については、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである
 4.家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである
 5.わからない
 6.その他(具体的に)



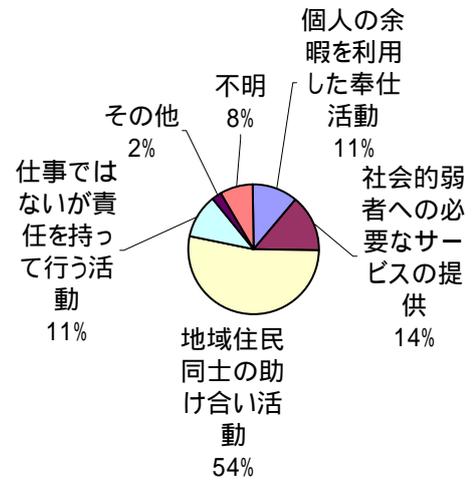
問10	回答数	構成比
責任は行政にあるので住民は協力しない	1	0.8%
行政の手の届かない福祉課題は住民が協力	23	18.7%
行政も住民も協力して取り組むべき	54	43.9%
家庭や地域で助け合い他を行政が援助	24	19.5%
わからない	12	9.8%
その他	2	1.6%
不明	7	5.7%
合計	123	100.0%

これからの福祉のあり方は、行政と住民が協力しあい共に取り組むべきと答えた方が最も多く、4割強となった。

問 11 あなたは「ボランティア」についてどう考えますか。(1 は 1 つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 個人の余暇を利用した奉仕活動 |
| 2. 社会的弱者への必要なサービスの提供 |
| 3. 地域住民同士の助け合いとして必要な活動 |
| 4. 仕事ではないが責任を持って行う活動 |
| 5. その他 () |

問 11	回答数	構成比
個人の余暇を利用した奉仕活動	14	11.4%
社会的弱者への必要なサービスの提供	17	13.8%
地域住民同士の助け合い活動	65	52.8%
仕事ではないが責任を持って行う活動	14	11.4%
その他	3	2.4%
不明	10	8.1%
合計	123	100.0%



ボランティアについての考えは、地域住民同士の助け合いと答えた方が約半数で、他に比べて顕著に多かった。

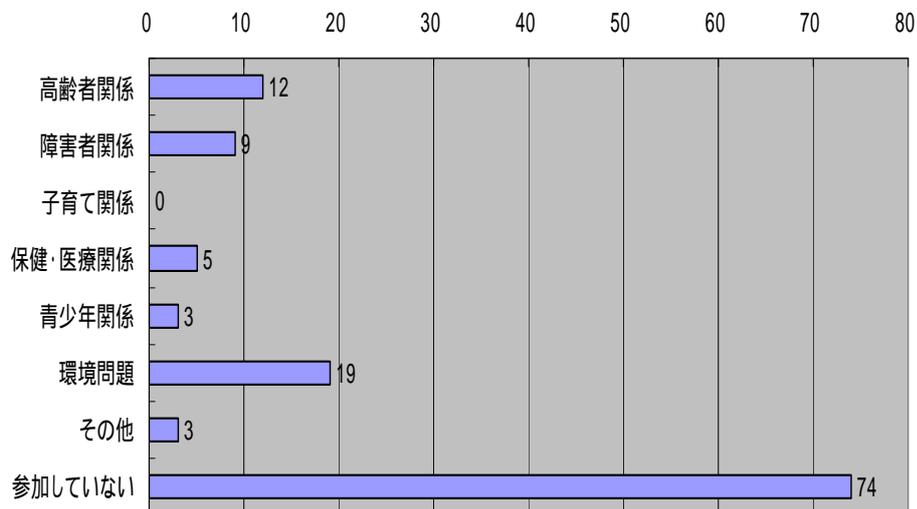
問12 現在、ボランティア活動等に参加している分野は何ですか？（該当するものに ）

1. 高齢者関係（友愛活動、クラブ活動等への協力支援や施設訪問交流など）
2. 障害者関係（車イス補助等社会参加・生活支援や施設訪問交流など）
3. 子育て関係（託児、育児相談や育児サークルなどの支援や施設訪問交流など）
4. 保健・医療関係（健康教室等の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など）
5. 青少年関係（悩み相談や交流、地域子ども会活動等による健全育成支援など）
6. 環境関係（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）
7. その他（具体的に ）
8. 参加していない

問12	回答数	構成比
高齢者関係	12	9.8%
障害者関係	9	7.3%
子育て関係	0	0.0%
保健・医療関係	5	4.1%
青少年関係	3	2.4%
環境問題	19	15.4%
その他	3	2.4%
参加していない	74	60.2%
合計	125	101.6%

ボランティア活動等に参加している分野は、過半数が参加していないものの高齢者関係、環境関係が多くみられた。

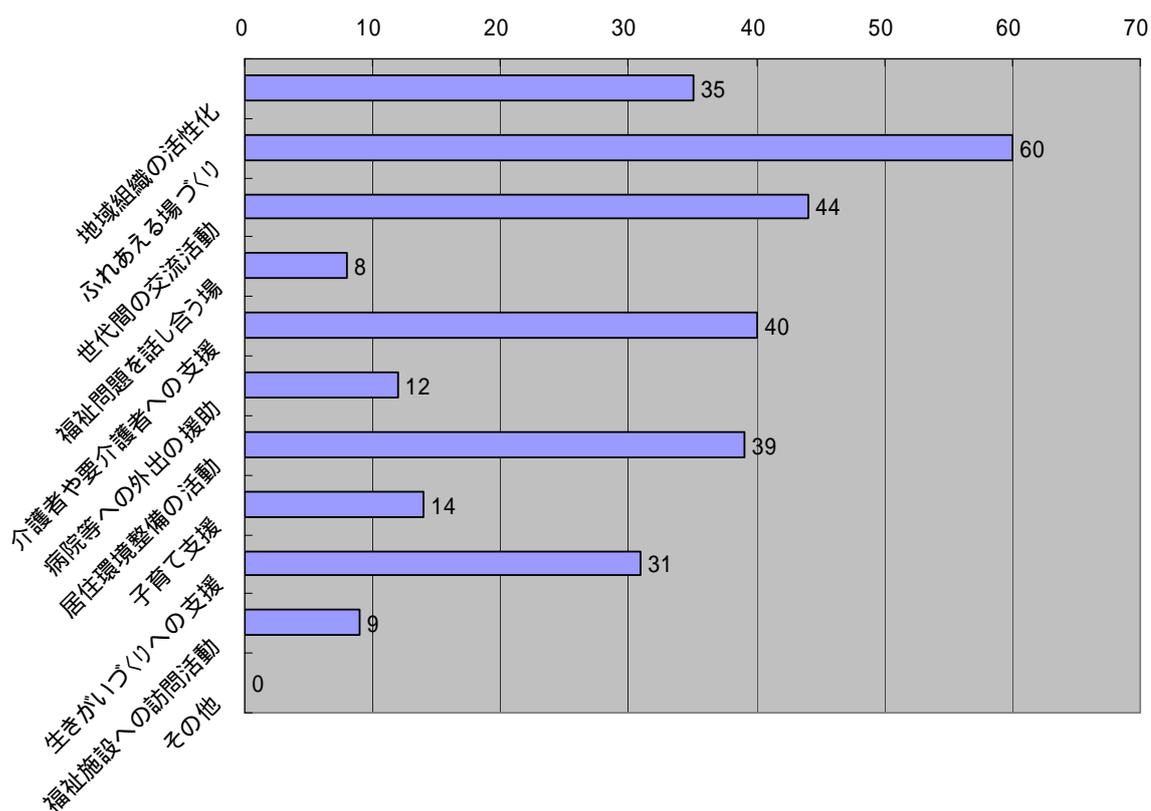
* 複数回答5項目以上回答したものなし



問13 今後、地域住民は、どのような福祉活動に取り組むことが望ましいとお考えですか。（ は3つまで）

問13	回答数	構成比
地域組織の活性化	35	14.7%
ふれあえる場づくり	60	25.2%
世代間の交流活動	44	18.5%
福祉問題を話し合う場	8	3.4%
介護者や要介護者への支援	40	16.8%
病院等への外出の援助	12	5.0%
居住環境整備の活動	39	16.4%
子育て支援	14	5.9%
生きがいづくりへの支援	31	13.0%
福祉施設への訪問活動	9	3.8%
その他	0	0.0%
合計	292	122.7%

*3 重回答



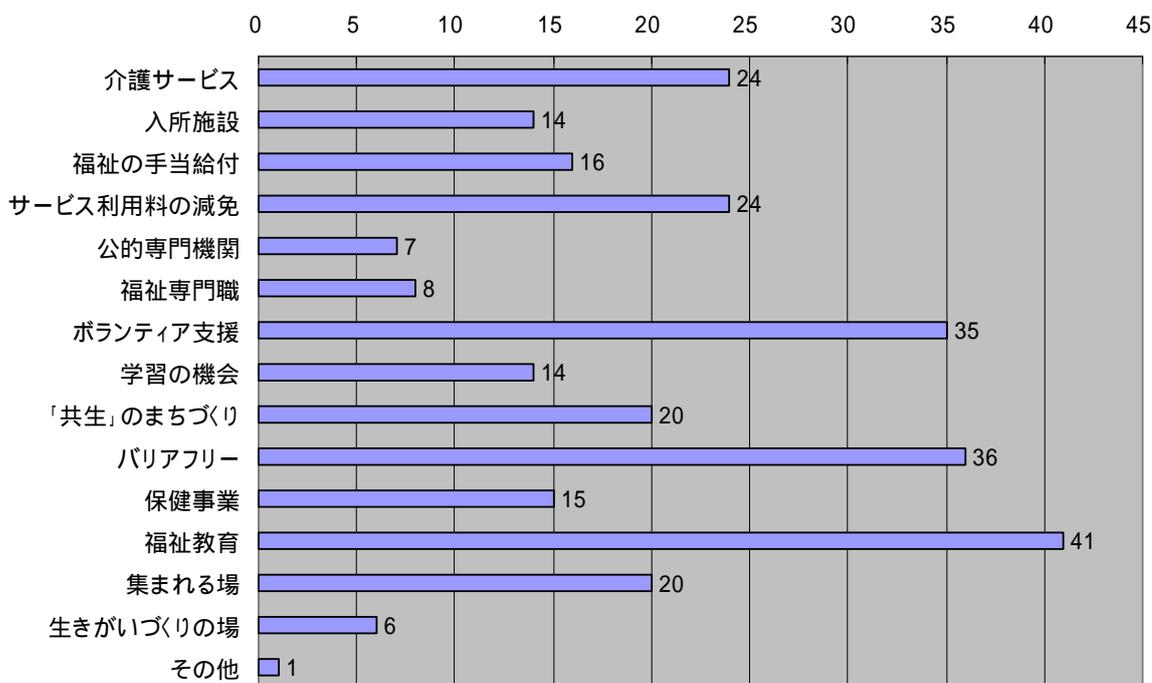
どのような福祉活動に取り組むことが望ましいかとの問には、ふれあえる場づくりが最も多く、次いで世代間の交流活動が続いている。

問14 今後、清水町にとって、ますます必要になると考えられるものを選んでください。(は3つまで)

1. 在宅での生活を支援する介護サービスを充実させる
2. 高齢者や障害者等が入所できる施設を拡充する
3. 福祉に係る手当給付など金銭的な援助を行う
4. 福祉サービスの利用に伴う金銭的な負担を軽くする
5. 福祉の専門的支援が行える公的な専門機関を設置する
6. 福祉の専門的援助ができる福祉専門職の配置を増やす
7. ボランティア活動に対する支援体制を充実させる
8. 福祉やボランティアに関する学習の機会を作る
9. 地域住民が助け合い支え合う「共生」のまちづくりの推進を図る
10. 道路の段差解消や公共機関などのバリアフリーを進める
11. 病気や寝たきりにならないための保健事業を充実させる
12. 学校等での福祉体験やボランティア活動など福祉教育を充実させる
13. 地域の人々が気軽に相談したり集まれる場を設置する
14. 社会参加を通じて生きがいづくりができる活動の場を確保する
15. その他()

問14	回答数	構成比
介護サービス	24	10.1%
入所施設	14	5.9%
福祉の手当給付	16	6.7%
サービス利用料の減免	24	10.1%
公的専門機関	7	2.9%
福祉専門職	8	3.4%
ボランティア支援	35	14.7%
学習の機会	14	5.9%
「共生」のまちづくり	20	8.4%
バリアフリー	36	15.1%
保健事業	15	6.3%
福祉教育	41	17.2%
集まれる場	20	8.4%
生きがいづくりの場	6	2.5%
その他	1	0.4%
合計	281	118.1%

ますます必要となる考えるものは、福祉教育が多く、次いでバリアフリー、ボランティア支援と続いた。



問 15 これからの「地域福祉」に対して寄せられた自由記載欄の『思い・意見』の数々です。

1. 地域住民の触れ合いというものが大切だと思うので、そういう機会を作ってほしい。
(清中3、男子)
2. 福祉の事は、まだあまり知らないけど、そういう活動などに取り組むことは良い事だと思う。
(清中3、女子)
3. ボランティアや福祉活動をもっと活発にしたらいと思う。
(清中3、男子)
4. 特にはないですが、そういう活動をするのは良いことだと思うので、機会がほしい。
(清中3、女子)
5. 清水町町民全員が協力し合いながら暮らす、住みよい町にしたい。
(清中3、女子)
6. 高齢者と若い人との交流などをもっと深めていけばいいと思う。
(清中3、女子)
7. みんなが協力していっていけばいいと思う。
(清中3、女子)
8. もっと若い世代や高齢者との交流を増やし、助け合いなどをもっと深めていってほしいと思います。
(清中3、女子)
10. 障害者や高齢者だけでなく、住民全員が安心し、そして幸せを感じられるよう地域や住民が協力すべきである。
(清中3、男子)
11. 元気に過ごしてほしい。
(清中3、男子)
12. 今でもボランティア活動はできているけど、もっとみんなが出来るようにしたらいいと思います。
(清中3、女子)
13. 若い人や年配の方の意見も大事にしながら、高齢者の方々がいかに、いきいき暮らせるかが大事だと思います。
(清中3、女子)
14. こんなことがないかぎり、あまり関心を持ったことがないので特にはない。
(清中3、男子)
15. 皆で協力し合えるような地域になると、いいと思います。
(清中3、女子)
16. もう少し福祉というものをふやせば良いと思う。
(清中3、女子)
17. 駐車場などを増やして、道路の横などに車を止めないようにしてほしい。小さい子などが車が影になってしまって見えないときがあるから！！
(清中3、女子)
18. もっと身近に感じられるようにしてください。
(清中3、女子)
19. 地域の福祉については、よく知らないなので、あまりわかりません。
(清中3、女子)
20. 人民の、人民による、人民のための地域の福祉を実現させてほしい。
(清中3、男子)

- 21.地域の住民にもっと福祉について知ってもらうことと、協力してもらうことが大切だと思います。
(清中3、女子)
- 22.そのままでもいいと思いますが、もっと高齢者や障害者のふれあいを増やした方が良いと思います。
(清中3、女子)
- 23.老人が困らないように、増やした方がよいと思う。
(清中3、女子)
- 24.ゲームセンターや、長崎屋などを作ってほしい。プロ野球チームを作ってほしい。
(清中3、男子)
- 25.もっと老人に対する福祉を増やし、老人の住みやすい街にしてほしい。
(清中3、男子)
- 26.援助を受けている人達は、それなりにお金を払ってしてもらっているので、お金のゆとりがなく援助を受けられない人達がいるので、もう少し安く(大変だと思うけど)検討してくれたら嬉しいです。
(御中3、女子)
- 27.もっと人が過ごしやすい環境を作るべき。
(御中3、女子)
- 28.高齢者や障害者が困っているときは、手助けしてあげる町づくりにしていったらいい。
(清高、女子)
- 29.誰でも人間は一人では生きていけないので、福祉に関係する人だけではなく、関係ない人でも、全ての人たちで協力し合いながら、暮らしていければよいと思う。
(清高、女子)
- 30.しらねー。
(清高、男子)
- 31.今よりずっと介護サービスが良くなればよいと思います。
(清高、男子)
- 32.高齢者と障害者と触れ合いの場をつくる。街をもっとバリアフリーにする。
(清高、女子)
- 33.これからも社会として、地域をどんどん知りつくして行きたいと思っている。
(清高、男子)